

クボタ 大型浄化槽 カタログ

51~
10,000
人槽

1. 浄化槽を設置するに際して
- 都道府県に登録している専門の（浄化槽設備士の資格をもつ）
工事業者と次のような事項について打ち合わせてください。
- 浄化槽の機種の種類、処理対象人員（処理水量）、
放流先及び放流水質の規制値
 - 設置場所、特殊工事の有無
 - 設置届けなど

注意（ア）特殊工事を必要とする場合の例

- * 設置場所を、車庫・駐車場などに使用する場合。
- * 設置場所が、断崖・川べり、交通量の多い道路ばた、軟弱
地盤、多雪地帯、近隣の建造物の荷重が影響する場所など。
- * 地下水などがでる場所。

（イ）浄化槽工事着手の制限について

- * 型式浄化槽は設置届けが受理された日から10日間経過
した後、工事に着手してください。
（この期間は、受理当日の初日は計算しない）
（水質汚濁防止法の特定施設となるものは工事着手60日前
までに申請する）

2. 浄化槽設置工事は、都道府県に登録されている
専門の（浄化槽設備士の資格をもつ）工事業者に依頼
してください。

3. 浄化槽の維持管理は、都道府県に登録されている
「保守点検業者」と契約してください。
- * 保守点検は、浄化槽管理士の資格をもった人が行わ
なければなりません。…………（有料）
 - * 浄化槽の汚泥引き抜きなどの清掃は、市町村長の許可を
受けた浄化槽清掃業者に依頼してください。…………（有料）

4. 浄化槽へは生活排水のみが流入できます。
例えば雨水や産業排水は流入させないでください。

ご使用に際して

1. ブロワの電源は切らないでください。この電源を切ると槽内に空気が
送り込まれなくなり、微生物が死んでしまうため、汚物が浄化されずに
悪臭が発生します。
2. 便器には異物（ゴム製品や脱脂綿類）を捨てないでください。パイプや
槽が詰まるばかりでなく、浄化能力も低下します。また、台所から料理の
くず片や天ぷら油を流さないでください。
3. トイレトベーパーには、水に溶けやすいものをご使用ください。また
使用量が多すぎると槽内の清掃必要回数も増えますので、適量を使用
してください。
4. 槽内への薬品（塩酸・殺虫剤・防臭剤・塩素剤・硫黄系入浴剤など）投入は
避けてください。多様な薬品が混入すれば、槽内の微生物が死んでし
まい、汚物が浄化されません。また、消毒効果も薄れます。
※糖尿病の薬や抗生物質を服用した場合には、浄化効果が低下したり、浄化でき
なくなることがあります。
5. トイレで使用後は、必ず水を流してください。1人1日に約40～60L
の水をご使用になるのが標準です。節水便器をお使いの場合は、“小便
時にも大レバー操作”や“使用の前後に水を流す”など維持管理業者の
指示に従って、適正水量を流してください。
※ 浄化槽の平均的水使用量は、雑排水を合わせて、1人1日に200Lです。

注意! マンホールの蓋は、必ず閉めてください。蓋がずれている場合は
危険ですから、ミゾにきちんとはめ、ロック機構がある場合は必ず
ロックしてください。万一、異常が認められた場合（ひび割れ、破損
など）は、蓋を取り替えてください。また、お子さまには十分注意
して、決して浄化槽付近では遊ばせないでください。

注意! 蓋を閉める場合には、専用開閉ハンドルのレンチ部分を使い、
キャップナットを必ず均等に閉めてください。また、ワッシャ、
パッキンなどの部品をなくさないように注意してください。

7. マンホールやブロワや電源コードの上に物を載せたり、周囲に物を
置かないでください。とくに可燃物や危険物は遠ざけてください。

注意!	マンホール耐荷重選別の表示	用 途
	1500K	総重量6トン以下
	2500K	総重量10トン以下
	5000K	総重量20トン以下
	6250K	総重量25トン以下

警告表示・安全上の注意

マークには以下のような意味があります。

警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険性及び物的損害の発生が想定されます。

【維持管理についての警告と注意】

注意 消毒剤による発火・爆発、有毒ガス事故防止

①消毒剤は強力な酸化剤です。消毒剤の説明書に従ってください。
②消毒剤には、塩素系の無機・有機の2種類があります。これらを一緒に薬剤筒に入れないでください。
これらの注意を怠ると、発火、爆発、有毒ガスを生ずるおそれがあります。

注意 消毒剤による器物破損事故防止

①浄化槽に入れる消毒剤は、浄化槽を使用開始するまでは開封しないでください。
②消毒剤を開封する前に浄化槽へ流入する排水元の設備、機器（トイレ、浴室、洗面台、台
所など）のトラップ封水が切れていないことを確認してください。
③浄化槽直後の放流水には消毒のための塩素が含まれています。塩素成分がガス化する為、
浄化槽直後のマスに穴あき蓋は使用しないでください。（穴からガスが出る恐れがあります。）
また、浄化槽直後のマスに雨どいの排水管を接続しないでください。塩素ガスや臭気が管内を
伝わり、上昇する恐れがあります。また、大雨時にはマスから浄化槽内に逆流する恐れがあります。
**これらの注意を怠ると、消毒剤の塩素ガスによって設備、機器が腐食し器物破損、傷害を
生ずるおそれがあります。**

警告 作業中の酸欠などの事故防止

構内に入る場合は、必ず酸素濃度を確認して、作業中は常に換気に気をつけてください。
このような注意を怠ると、人身事故（死亡事故）の発生するおそれがあります。

注意 マンホール・点検口などの転落・傷害事故防止

①作業終了後、マンホール・点検口などの蓋は、必ず閉めてください。またロック機構の
あるものは、必ずロックしてください。
②マンホール・点検口などの蓋のひび割れ・破損など異常を発見したら、直ちに取り替えてください。
③マンホールや点検口などの蓋は、経年劣化によって破損し易くなります。
劣化が著しいものは、交換をお薦めします。
これらの注意を怠ると、転落・傷害の生ずるおそれがあります。

注意 感電・発火事故防止

①ブロワ・制御盤の近く（約50cm以内）には、ものを置かないでください。
②電源コードの上には、ものを置かないでください。
このような注意を怠ると、感電・発火の生ずるおそれがあります。

「取扱説明書」、「施工要領書」、「維持管理要領書」の必要な方は弊社の窓口までご連絡ください。または、ホームページからもダウンロードしていただけます。

株式会社クボタ

本 社 〒556-8601 大阪市浪速区敷津東一丁目2-47
滋賀工場 〒520-3211 滋賀県湖南市高松町2-1

ホームページ

<https://www.kubota.co.jp/product/johkasou/>

facebook公式ページ

<https://www.facebook.com/kubotajohkasou/>



●当カタログの放流水質のBOD（生物化学的酸素要求量）、COD（化学的酸素要求量）、T-N（全窒素）、T-P（全リン）、
SS（浮遊物質）濃度mg/Lは日間平均値です。
●商品改良のため、外観・仕様・価格は予告なく変更することがあります。
●写真は印刷色のため実物と色合いが多少異なることがあります。

2026年3月二十二版

クボタ浄化槽システム株式会社

本 社 〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1-1-1 ☎06(6470)5301 FAX 06(6470)5302
東日本支店 〒104-8307 東京都中央区京橋2-1-3 ☎03(3245)3708 FAX 03(3245)3720
東海近畿支店 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-22-8 ☎052(564)5121 FAX 052(564)5129
中四国支店 〒732-0057 広島市東区二葉の里3-5-7 ☎082(207)0648 FAX 082(207)0649
九州・沖縄支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-8 ☎092(473)2540 FAX 092(473)2581
東北営業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 ☎022(765)6410 FAX 022(778)0920
大阪営業所 〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1-1-1 ☎06(6470)5301 FAX 06(6470)5302
岡山営業所 〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町409 ☎086(430)5927 FAX 086(430)1950
四国営業所 〒760-0050 香川県高松市亀井町2-1 ☎087(836)3916 FAX 087(812)5017
南九州営業所 〒891-0114 鹿児島市小松原1-53-10 ☎099(260)8710 FAX 099(260)8716
沖縄営業所 〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-15 ☎098(862)1600 FAX 092(473)2581
海外営業部 〒104-8307 東京都中央区京橋2-1-3 ☎03(3245)3634 FAX 03(3245)3720

水を守り、
未来へつなぐ



クボタの高度な水処理技術を、 ワンパッケージにしてあなたのもとへ。

そこに水処理のニーズがあるかぎり、
持てるすべての技術とノウハウを投入し、水処理の最適なカタチを提供する。
それが、日本の、そして世界の水処理シーンをリードしてきたクボタの使命です。

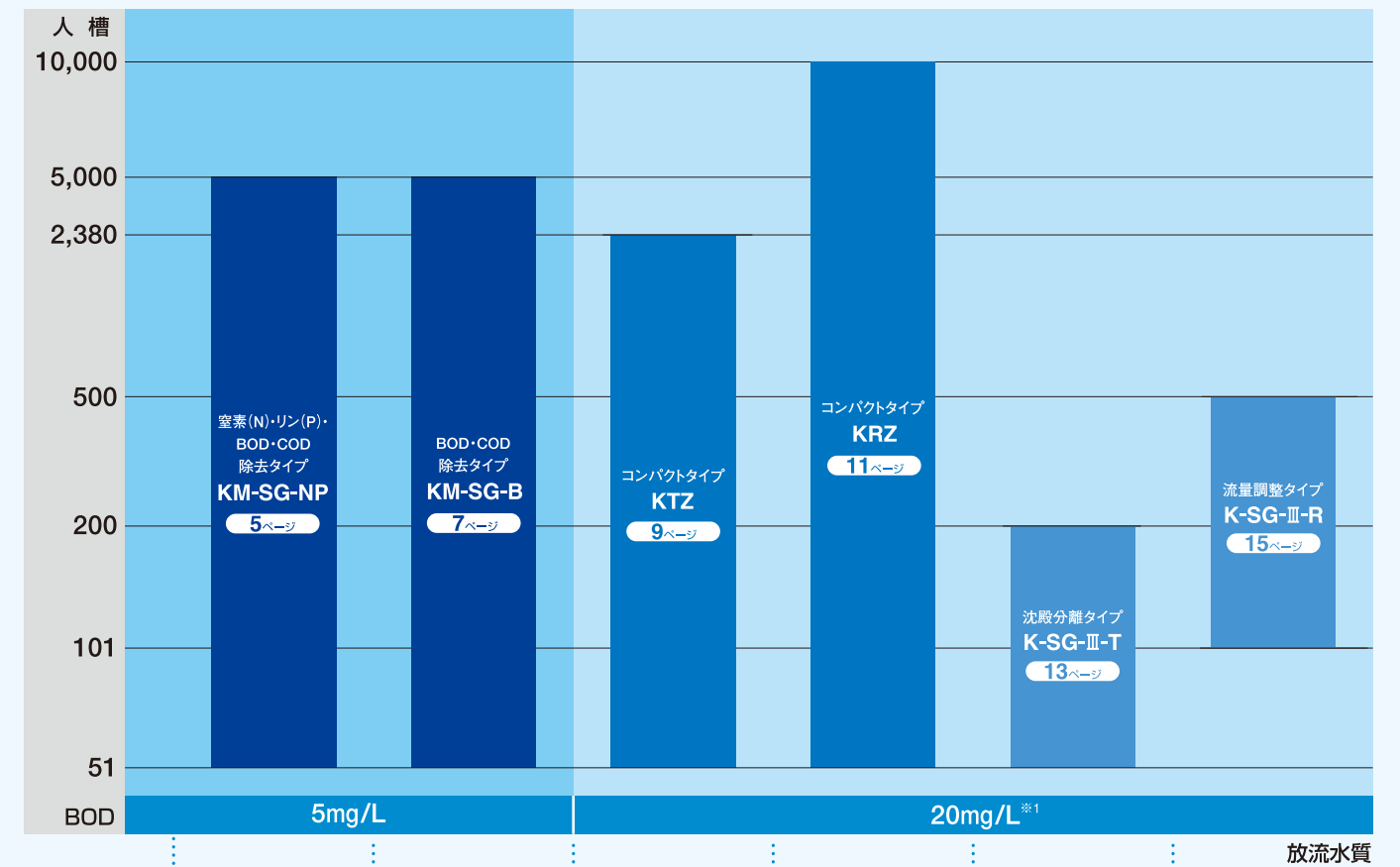
クボタは、日本における水処理整備の重点地域が、
人口密集地域から人口散在地域へ移行するいま、
長年にわたる各種水処理プラントの建設で培ってきた、
高度な水処理エンジニアリングのノウハウを、1BOXにパッケージング。
求められる場所に、求められるサイズで、最良の水処理ソリューションをお届けします。
これからの合併処理浄化槽の主流は、クボタの「プラント・パッケージ」。
すでに、21世紀型の自然にやさしい地域づくり、
暮らしづくりをめざす多くのお客様に選ばれています。



求められる条件に、応える充実のラインナップ。

■大型浄化槽機種一覧

大規模物件既存施設改修に対応したハイブリッド浄化槽もラインナップ。 [17ページ](#)



■大型浄化槽仕様一覧

シリーズ名		KM-SG-NP型		KM-SG-B型		KTZ型		KRZ型		K-SG-Ⅲ-T型		K-SG-Ⅲ-R型		
処 理 方 式		膜分離活性汚泥方式				担体流動ろ過循環方式		流量調整型 担体流動ろ過循環方式		接触ばっ気方式				
		流量調整槽				ピークカット流量調整部		流量調整槽		沈殿分離槽		流量調整槽		
除 去 対 象		窒素(N)・リン(P) BOD・COD除去		BOD・COD除去						BOD除去				
告 示 区 分		令35条第1項認定								告示第6第二号				
放流水質 mg/L		認定値	性能評定値	認定値	性能評定値	認定値		認定値		認定値		認定値		
		B O D	10	5	10	5	20		20		20		20	
		C O D	10	10	10	10	30		30		—		—	
		T - N	10	10	—	20	—		—		—		—	
		T - P	1	0.5	—	—	—		—		—		—	
		S S	—	5	—	5	10		10		—		—	
		ノルマルヘキサ	—	3	—	3	20		20		—		—	
大腸菌群数 (個/cm ³)		—	100	—	100	3,000		3,000		—		—		
人 槽 (人)		51～5,000		51～5,000		51～2,380		51～10,000		51～200		101～500		
汚 水 量 (m ³ /日)		5.1～470		5.1～470		2.55～119		2.55～1,000		5.1～39		10.1～138		
断面形状 (mm)		φ2,500												

※ 放流水質のBOD(生物化学的酸素要求量)、COD(化学的酸素要求量)、T-N(全窒素)、T-P(全リン)、SS(浮遊物質)濃度mg/Lは日間平均値です。 ●仕様・寸法等は改良のため予告なく変更することがあります。
※1 後付三次処理槽によりBOD10mg/L以下対応可能です。

長き歴史が育んだノウハウを活かし、クリーン化技術をつぎのステージへ。

水処理技術の粋をそこに結集。
極めて高度で安定した水処理性能を発揮します。

液中膜

「液中膜」はクボタの高度な水処理技術と、独自の膜技術が生み出した特許技術です。

膜分離方式

【対象商品】KM-SG-NP型/KM-SG-B型

●窒素・リンの除去が可能 (KM-SG-NPシリーズのみ)

膜分離方式の採用によって高濃度活性汚泥運転が可能となり、BODなどの有機汚濁物質だけでなく、窒素も容易に除去できます。リンについては、ばっ気槽に凝集剤を直接添加するだけで簡単に除去することが可能です。

●設置面積がコンパクト

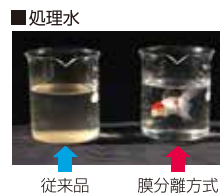
高濃度活性汚泥運転でばっ気槽容量を小さくできるほか、沈殿槽や汚泥濃縮槽などが不要なため、従来方式の浄化槽に比べて設置面積が30～60%で済みます(当社比)。

●改修工事にも最適

既存の施設を利用した改修工事により処理能力の向上を図れます。

●後処理なしで処理水の再利用が可能

液中膜®の小さな孔(1mmの1万の4)を通過したものが処理水として排出されるので、処理水質のレベルは極めて高く、安定しています。バクテリアなども通過しないため、処理水は高度処理施設なしでも中水道や散水用水として再利用できます。



●シンプルな処理工程で運転管理が容易

処理フローがシンプルで、かつ負荷変動にも強いいため、運転管理が容易。電話回線を利用した遠隔監視システムもご用意しています。「液中膜®保証システム」を御参照ください。(P.19)

クリーンできめ細かな排水処理を実現するクボタの液中膜®

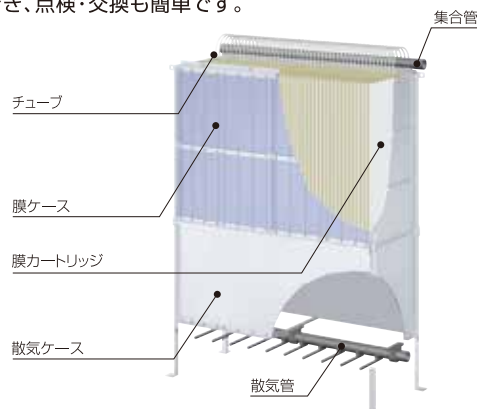
●膜面の透過・クリーニング性能

液中膜®は、ポリオレフィン为原料とした微多孔性膜。膜面の微孔サイズより小さい透過液は通過できますが、汚れの成分はサイズが大きく通過できません。また、汚れは膜表面に吸い寄せられますが、ばっ気攪拌の水流と気泡が膜の表面に接触し、振動させながら上昇するため、膜面はつねに洗浄され、微孔の目詰まりを防いでいます。



●膜ユニットの構成

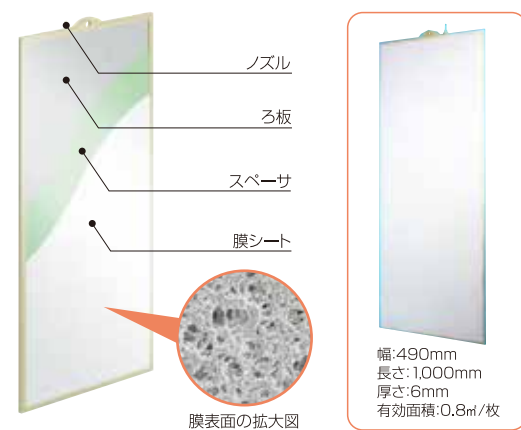
膜ユニットは、ろ板の両側に微多孔性膜を貼った膜カートリッジ、その内側から処理水を抜き出すチューブと集合管、多枚数の膜カートリッジを収納する膜ケース、さらには下部の散気管と散気ケースで構成されています。膜カートリッジは1枚ずつ取り出すことができ、点検・交換も簡単です。



※FRP製大型浄化槽用膜ユニットには25枚と50枚のタイプがあります。

●膜カートリッジのしくみ

膜カートリッジの両面に貼られた膜材は、塩素化ポリエチレンを原料とした孔径0.4μmの微多孔性膜です。処理水はスぺーサを通り、ノズルから排出されます。



幅:490mm
長さ:1,000mm
厚さ:6mm
有効面積:0.8㎡/枚

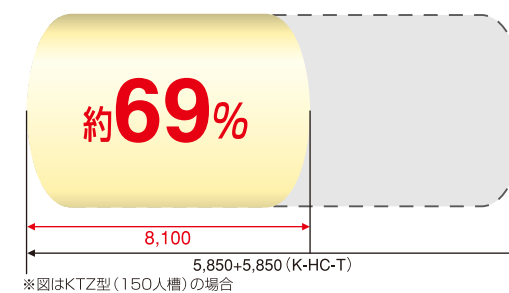
槽の小型化と水処理の安定化を両立。
工費・維持管理のコストダウンに貢献します。

担体流動ろ過方式

【対象商品】KTZ型/KRZ型

●浄化槽の全長比を大幅にコンパクト化

KTZ型は、従来機種K-HC-Tに比べて、槽の全長比を約69～84%小型化(当社比)。KRZ型はさらに小さくなります。(12時間排水の場合)



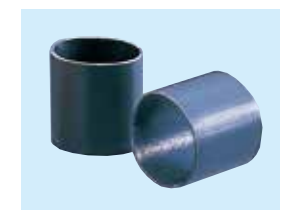
※図はKTZ型(150人槽)の場合

●2段階のろ過で高効率な処理を実現

二次処理槽の前に第一ろ過槽を、後に担体ろ過槽を配置。2段ろ過構造で清澄な処理水を確保します。(KTZ型/KRZ型)



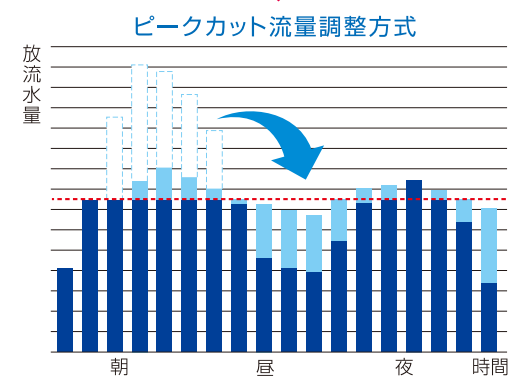
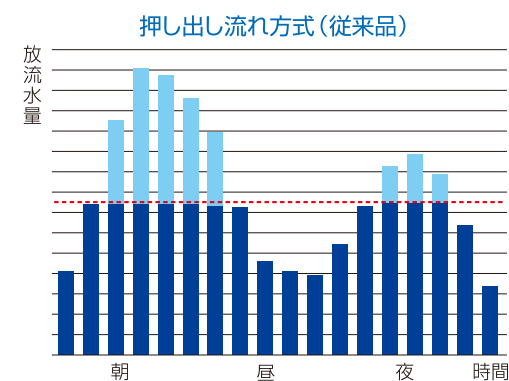
■流動担体 スポンジ



■ろ過担体 表面平滑円筒 (φ14～16×15mm)

●ピークカット流量調整方式で処理能力が安定

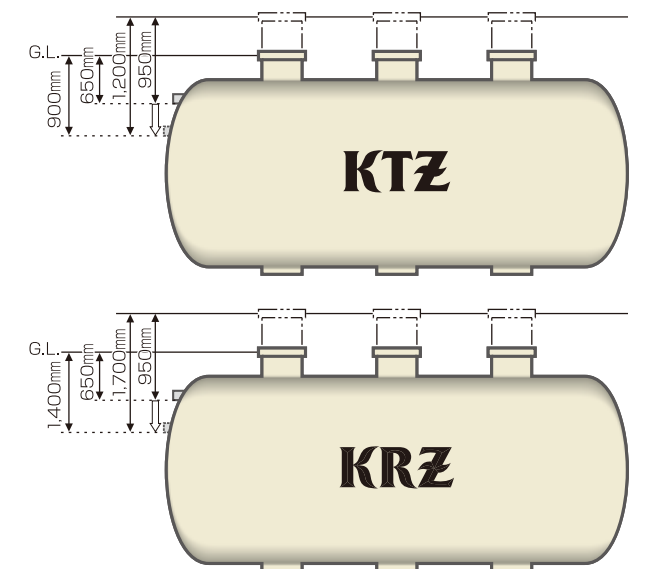
流入水が著しく増加した場合に流量調整部で流入水を一時貯留し、流入水量の変動を緩和するシステム。KTZ型はピークカット流量調整方式で固液分離槽と嫌気ろ床槽の一部を流量調整部としています。KRZ型は流量調整槽を設けています。



※グラフはイメージ図です。

●流入管底KTZは1,200mm、KRZは1,700mmまで原水ポンプ槽が不要

高上げ最大300mmではKTZはGL-1,200mm、KRZはGL-1,700mmまで原水ポンプ槽が不要です。



●保守点検回数を低減

KTZ型の保守点検は3ヶ月に1回です。(KRZ型は2週間に1回です)

KM-SG-NP型

◎設計条件

	流入水	放流水(認定値)
BOD	50~450mg/L	10mg/L以下
COD	100mg/L	10mg/L以下
T-N	50~100mg/L	10mg/L以下
T-P	5mg/L	1mg/L以下

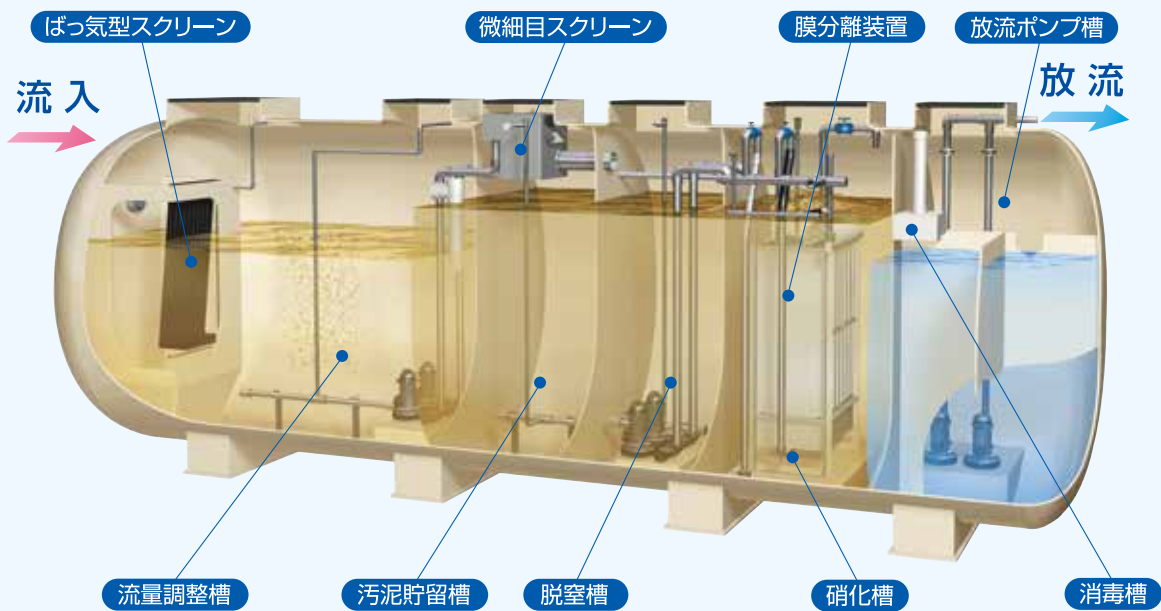
液中膜

「液中膜」はクボタの高度な水処理技術と、独自の膜技術が生み出した特許技術です。

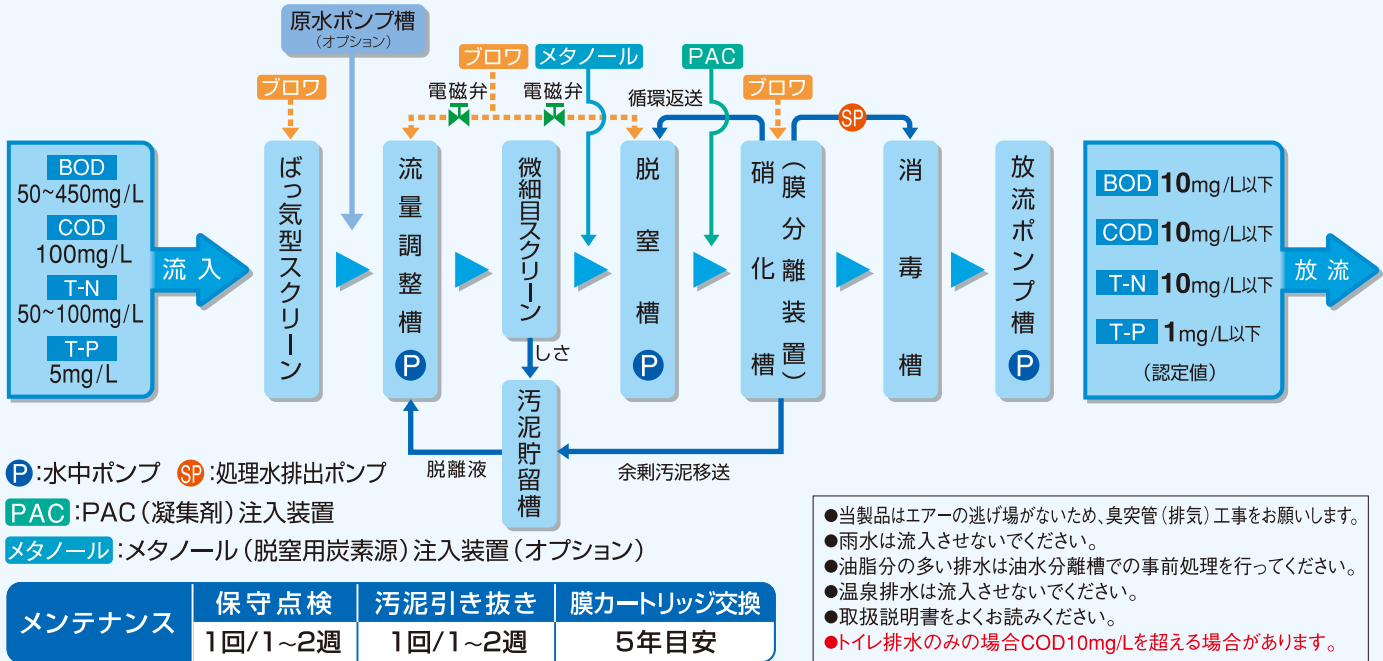
- 膜分離+循環式高濃度活性汚泥法+凝集脱リン法で窒素・リン除去が可能。
- 原水ポンプ槽内蔵型も対応可能、さらなるコンパクト化を実現。
- ハイブリッドタイプ※も選択可能。— 深型流量調整槽の採用で、省スペースでの施工が可能。 — 既設RC槽を活用しての改修が可能。

※RC製またはPC製の流量調整槽を設計可能。

●断面パース図

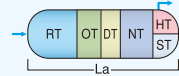


●フローシート(処理工程図)

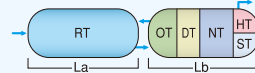


●槽の配列

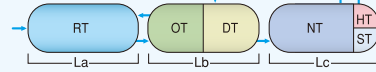
KM-SG-NP-1



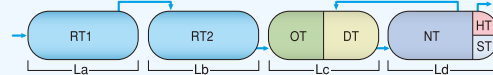
KM-SG-NP-2A



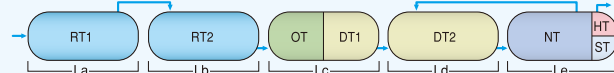
KM-SG-NP-3A



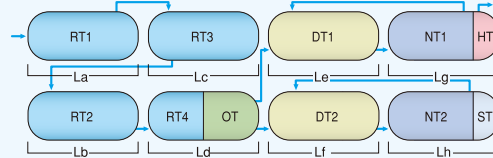
KM-SG-NP-4A



KM-SG-NP-5A



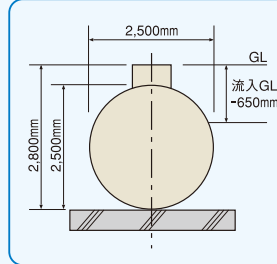
KM-SG-NP-8B



●記号の説明

- RT 流量調整槽
 - DT 脱窒槽
 - ST 消毒槽
 - OT 汚泥貯留槽
 - NT 硝化槽
 - HT 処理水排出槽(放流ポンプ槽)
- ※原水ポンプ槽・水中ブロワ槽もオプションでご用意しております。

●断面寸法図



◎設計条件(日平均汚水量 200L/人・日、流入水BOD 200mg/L、T-N 50mg/L、排水時間 12hの場合)

処理対象 人員(人)	配 列	汚 水 量 (m³/日)	計画スペース(mm)		槽 本 体 全 長 (mm)								必要電気容量 (kW)
			W	L	La	Lb	Lc	Ld	Le	Lf	Lg	Lh	
51	1	10.2	3,600	6,750	6,150	—	—	—	—	—	—	—	3.39
75	1	15.0	3,600	7,400	6,800	—	—	—	—	—	—	—	3.39
100	1	20.0	3,600	9,150	8,550	—	—	—	—	—	—	—	3.39
125	1	25.0	3,600	10,200	9,600	—	—	—	—	—	—	—	3.44
150	1	30.0	3,600	11,200	10,600	—	—	—	—	—	—	—	3.44
175	2A	35.0	3,600	14,150	5,400	7,650	—	—	—	—	—	—	4.19
200	2A	40.0	3,600	15,150	6,100	7,950	—	—	—	—	—	—	4.84
225	2A	45.0	3,600	16,200	6,800	8,300	—	—	—	—	—	—	4.84
250	2A	50.0	3,600	18,200	7,500	9,600	—	—	—	—	—	—	4.84
275	2A	55.0	3,600	19,200	8,200	9,900	—	—	—	—	—	—	5.54
300	2A	60.0	3,600	20,250	8,900	10,250	—	—	—	—	—	—	5.54
325	3A	65.0	3,600	23,300	9,600	5,600	6,500	—	—	—	—	—	7.04
350	3A	70.0	3,600	24,350	10,250	6,000	6,500	—	—	—	—	—	7.04
400	4A	80.0	3,600	27,300	5,950	6,000	6,750	6,500	—	—	—	—	7.79
425	4A	85.0	3,600	29,450	6,300	6,350	7,200	7,500	—	—	—	—	7.79
450	4A	90.0	3,600	30,500	6,650	6,650	7,600	7,500	—	—	—	—	7.79
475	4A	95.0	3,600	31,600	7,000	7,000	8,000	7,500	—	—	—	—	7.79
500	4A	100.0	3,600	33,700	7,350	7,350	8,400	8,500	—	—	—	—	8.79
600	4A	120.0	3,600	39,100	8,750	8,750	10,000	9,500	—	—	—	—	11.64
700	5A	140.0	3,600	45,450	10,200	10,200	5,950	6,000	10,500	—	—	—	13.04
800	8B	160.0	6,600	27,550	6,550	6,550	6,600	6,600	5,600	5,600	6,700	6,700	16.555
1,000	8B	200.0	6,600	33,250	8,250	8,250	8,250	8,250	6,950	6,900	7,700	7,700	17.28

※必要電気容量は「攪拌ブロワ」「硝化槽ばっ気ブロワ(単独運転想定)」「微細目スクリーン」「流量調整ポンプ」「循環ポンプ」「排出ポンプ」「放流ポンプ」「PAC注入」の電気容量を合計したものです。

注1 型式認定番号、型式適合認定番号、大臣認定番号は弊社の窓口までお問い合わせ下さい。ホームページにも掲載しております。

膜分離活性汚泥方式

51~5,000
人 槽

汚水量 (m³/日)
5.1~470

BOD・COD
除去

令35条
第1項認定

KM-SG-B型

◎設計条件

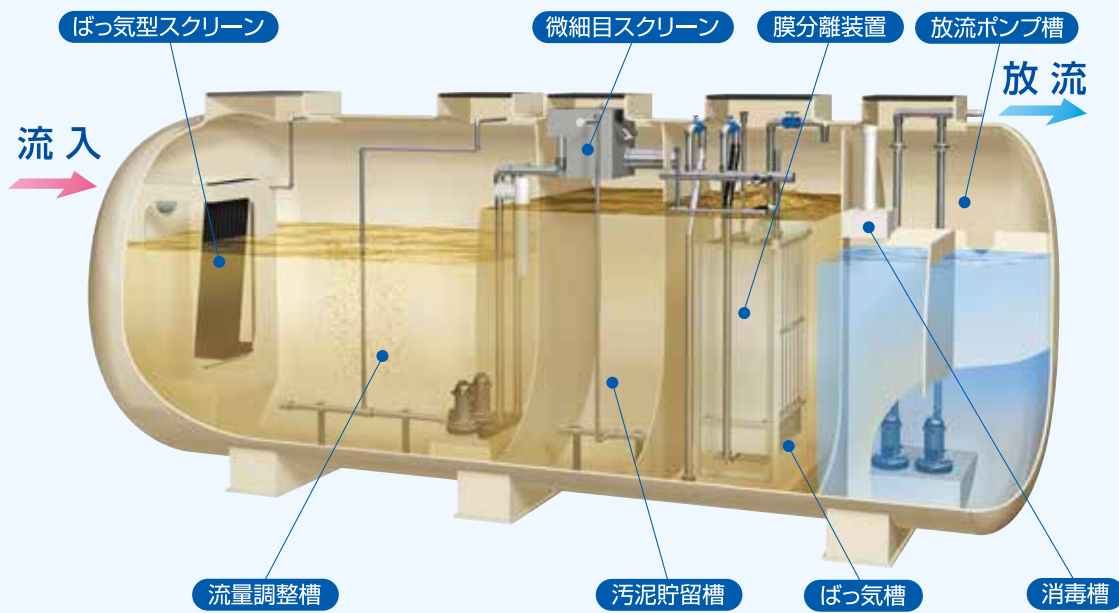
	流入水	放流水 (認定値)
BOD	50~450mg/L	10mg/L以下
COD	100mg/L	10mg/L以下

液中膜

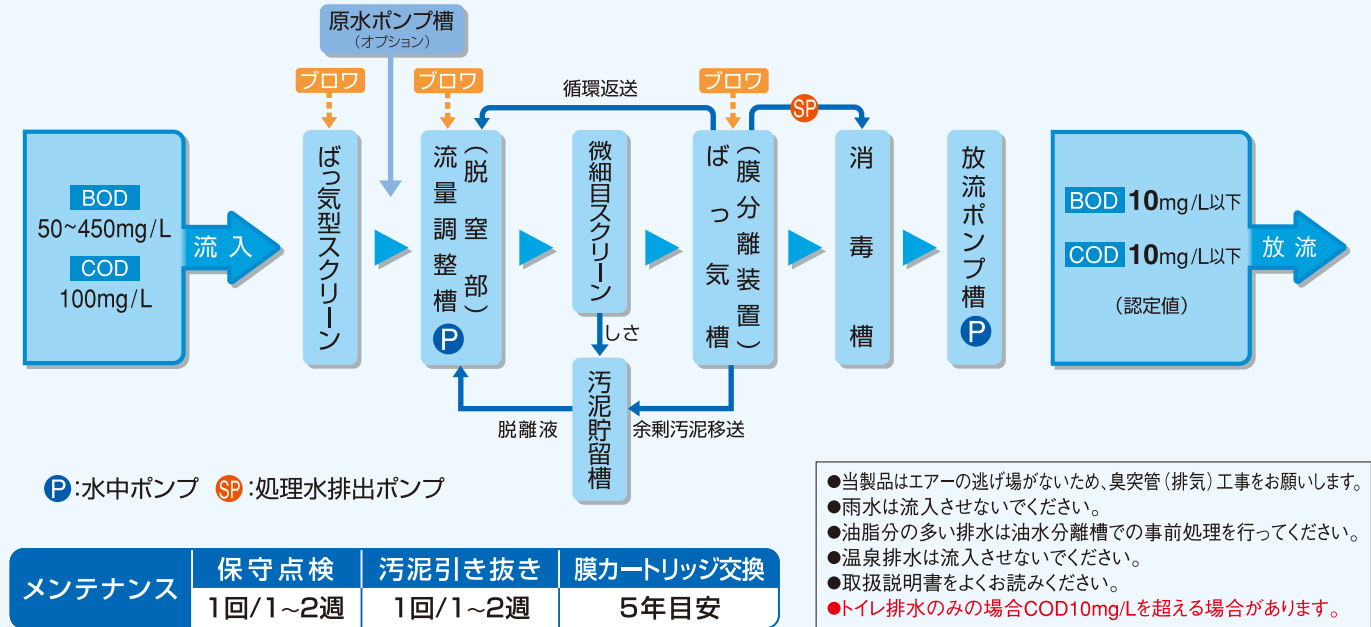
「液中膜」はクボタの高度な水処理技術と、独自の膜技術が生み出した特許技術です。

- 流量調整槽内に脱窒部を確保。脱窒素槽を省略し、さらにコンパクト・省スペース化を実現。
- COD規制10mg/L以下に加えて窒素除去能力20mg/L以下も可能 (性能評定)。
- 原水ポンプ槽内蔵型も対応可能。

●断面パース図

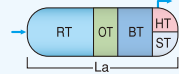


●フローシート (処理工程図)

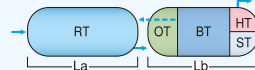


●槽の配列

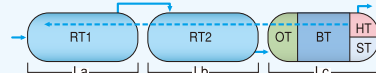
KM-SG-B-1



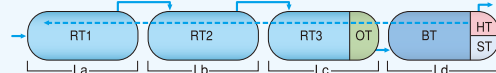
KM-SG-B-2A



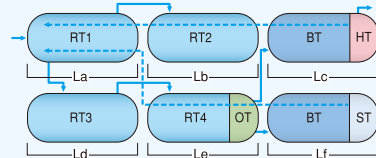
KM-SG-B-3A



KM-SG-B-4B



KM-SG-B-6B

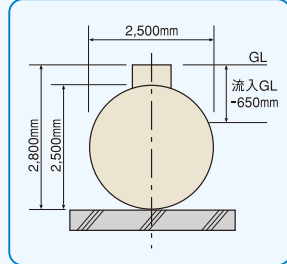


●記号の説明

- RT 流量調整槽 OT 汚泥貯留槽
- BT ばっ気槽 ST 消毒槽
- HT 処理水槽 (放流ポンプ槽)

※原水ポンプ槽・水中プロワ槽もオプションでご用意しております。

●断面寸法図



※これ以外の槽配列もあります。

◎設計条件 (日平均汚水量 200L/人・日、流入水BOD 200mg/L、排水時間 12hの場合)

処理対象 人員 (人)	配 列	汚 水 量 (m³/日)	計画スペース (mm)		槽 本 体 全 長 (mm)								必要電気容量 (kW)
			W	L	La	Lb	Lc	Ld	Le	Lf	Lg	Lh	
51	1	10.2	3,600	6,250	5,650	—	—	—	—	—	—	—	3.125
75	1	15.0	3,600	6,450	5,850	—	—	—	—	—	—	—	3.125
100	1	20.0	3,600	8,300	7,700	—	—	—	—	—	—	—	3.125
125	1	25.0	3,600	9,100	8,500	—	—	—	—	—	—	—	3.175
150	1	30.0	3,600	9,900	9,300	—	—	—	—	—	—	—	3.175
175	2A	35.0	3,600	13,100	6,250	5,750	—	—	—	—	—	—	3.925
200	2A	40.0	3,600	13,950	7,100	5,750	—	—	—	—	—	—	4.425
225	2A	45.0	3,600	14,750	7,900	5,750	—	—	—	—	—	—	4.425
250	2A	50.0	3,600	16,500	8,700	6,700	—	—	—	—	—	—	4.425
275	2A	55.0	3,600	17,300	9,500	6,700	—	—	—	—	—	—	4.775
300	2A	60.0	3,600	18,150	10,350	6,700	—	—	—	—	—	—	4.775
325	3A	65.0	3,600	20,700	5,700	5,700	7,700	—	—	—	—	—	6.275
350	3A	70.0	3,600	21,550	6,150	6,100	7,700	—	—	—	—	—	6.275
375	3A	75.0	3,600	22,350	6,550	6,500	7,700	—	—	—	—	—	6.275
400	3A	80.0	3,600	23,150	6,950	6,900	7,700	—	—	—	—	—	6.275
425	3A	85.0	3,600	25,000	7,350	7,350	8,700	—	—	—	—	—	6.275
450	3A	90.0	3,600	25,800	7,750	7,750	8,700	—	—	—	—	—	6.275
475	3A	95.0	3,600	26,600	8,150	8,150	8,700	—	—	—	—	—	6.275
500	3A	100.0	3,600	28,400	8,550	8,550	9,700	—	—	—	—	—	7.275
600	4B	120.0	3,600	33,950	7,400	7,400	7,400	9,650	—	—	—	—	10.125
700	4B	140.0	3,600	38,550	8,650	8,600	8,600	10,600	—	—	—	—	10.825
800	6B	160.0	6,600	23,100	7,450	7,400	7,400	7,400	6,650	6,650	—	—	13.525
1,000	6B	200.0	6,600	28,050	9,400	9,400	9,400	9,350	7,650	7,650	—	—	13.525
1,500	8B	300.0	6,600	40,950	9,600	9,600	9,600	9,600	9,550	9,550	10,100	10,100	14.25

※必要電気容量は「攪拌プロワ」「ばっ気プロワ (単独運転想定)」「微細目スクリーン」「汚水移送ポンプ」「処理水排出ポンプ」「放流ポンプ」の電気容量を合計したものです。
注1 型式認定番号、型式適合認定番号、大臣認定番号は弊社の窓口までお問い合わせ下さい。ホームページにも掲載致しております。

担体流動ろ過循環方式

51~2,380
人 槽

汚水量 (m³/日)
2.55~119

ピークカット
流量調整部

令35条
第1項認定

■ 型式の読み方
KTZ-1A型
└─ 型式 ─┬─ 槽の配列

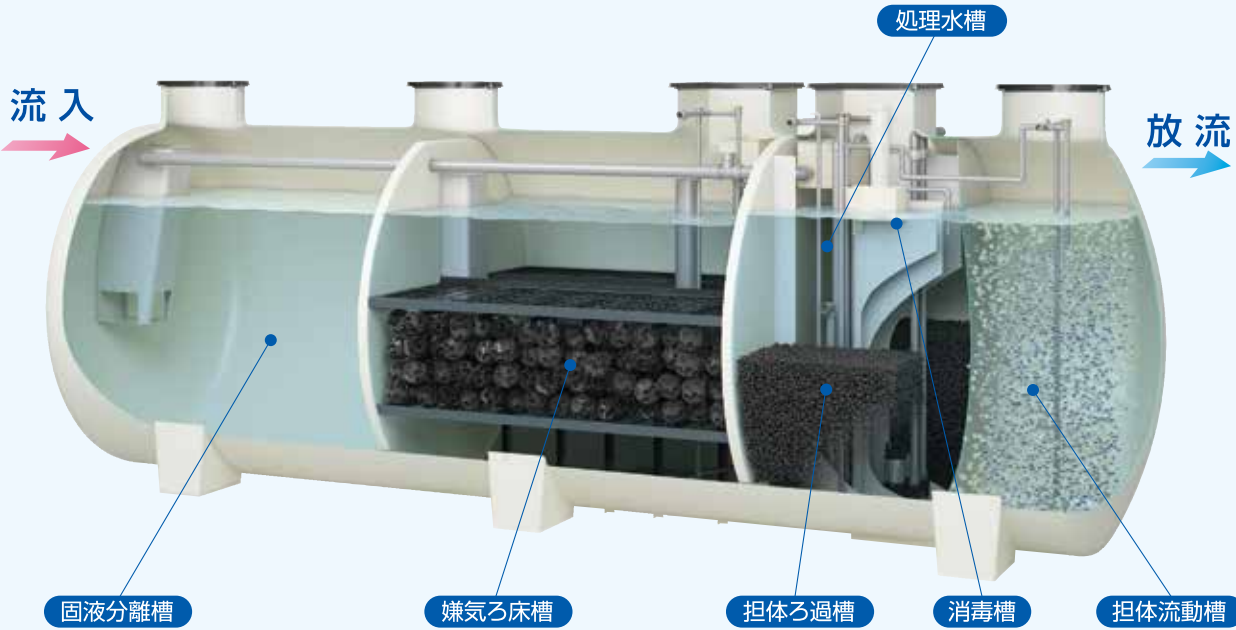
KTZ型

◎設計条件

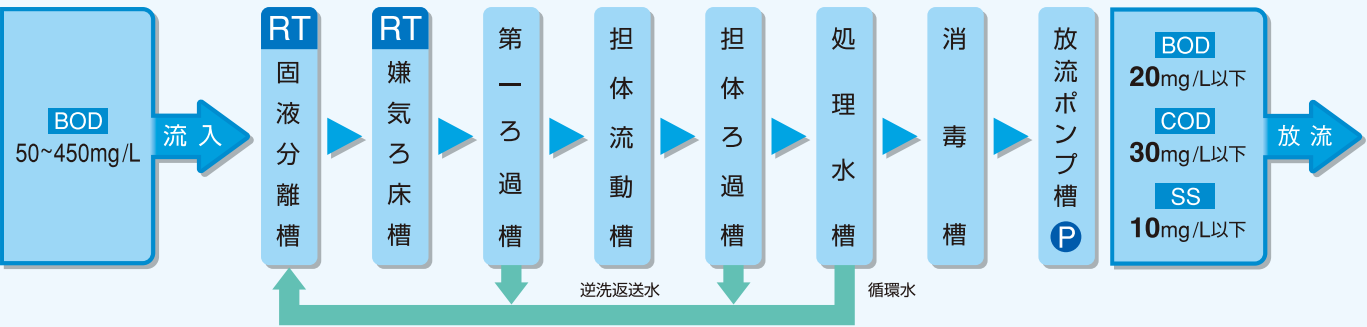
	流入水	放流水
BOD	50~450mg/L	20mg/L以下

- 業界最小クラスのコンパクトボディに従来型以上の性能を凝縮。
- 業界初! 8時間排水試験も実施し、性能評価取得。
- 施工性がアップ。200人槽まで1槽・ブロウ1台仕様が可能。
- メンテナンス頻度を節減／3ヶ月に1回以上で性能評価取得。

●断面パース図



●フローシート (処理工程図)



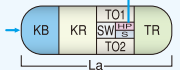
P: 水中ポンプ RT: ピークカット流量調整部

メンテナンス	保守点検	汚泥引き抜き
	1回/3ヶ月	1回/6ヶ月

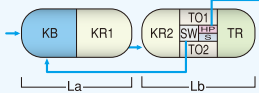
- 当製品はエアーの逃げ場がないため、臭突管 (排気) 工事をお願いします。
- 雨水は流入させないでください。
- 油脂分の多い排水は油水分離槽での事前処理を行ってください。
- 温泉排水は流入させないでください。
- 取扱説明書をよくお読みください。

●槽の配列

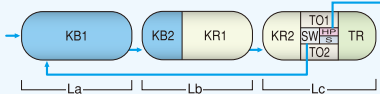
KTZ-1A



KTZ-2A



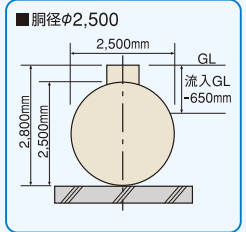
KTZ-3A



●記号の説明

- (KB) 固液分離槽 (TO2) 担体ろ過槽
- (KR) 嫌気ろ床槽 (SW) 処理水槽
- (TO1) 第一ろ過槽 (S) 消毒槽
- (TR) 担体流動槽 (HP) 放流ポンプ槽

●断面寸法図



◎設計条件 (日平均汚水量 200L/人・日、流入水BOD 200mg/L)

処理対象 人員 (人)	配 列	汚 水 量 (m³/日)	参考設置寸法 (2A・3Aは並列)		槽 本 体 全 長 (mm)			必要電気容量 (kW)
			W	L	La	Lb	Lc	
51	1A	10.2	3,600	4,350	3,750	—	—	1.05
55	1A	11.0	3,600	4,400	3,800	—	—	1.05
60	1A	12.0	3,600	4,600	4,000	—	—	1.05
70	1A	14.0	3,600	4,950	4,350	—	—	1.05
80	1A	16.0	3,600	5,450	4,850	—	—	1.05
90	1A	18.0	3,600	5,800	5,200	—	—	1.05
100	1A	20.0	3,600	6,250	5,650	—	—	1.05
110	1A	22.0	3,600	6,750	6,150	—	—	1.05
120	1A	24.0	3,600	7,200	6,650	—	—	1.80
130	1A	26.0	3,600	7,650	7,050	—	—	1.80
140	1A	28.0	3,600	8,200	7,650	—	—	1.80
150	1A	30.0	3,600	8,700	8,150	—	—	1.80
160	1A	32.0	3,600	9,250	8,650	—	—	1.80
170	1A	34.0	3,600	9,700	9,100	—	—	1.80
180	1A	36.0	3,600	10,200	9,650	—	—	1.80
190	1A	38.0	3,600	10,750	10,150	—	—	1.80
200	1A	40.0	3,600	11,300	10,700	—	—	1.80
205	2A	41.0	6,600	6,200	5,650	5,600	—	2.05
220	2A	44.0	6,600	6,600	6,050	6,000	—	2.05
240	2A	48.0	6,600	7,150	6,550	6,500	—	2.55
260	2A	52.0	6,600	7,600	7,000	7,000	—	3.25
280	2A	56.0	6,600	8,200	7,550	7,550	—	3.25
300	2A	60.0	6,600	8,650	8,050	8,000	—	3.25
325	2A	65.0	6,600	9,300	8,700	8,650	—	3.25
350	2A	70.0	6,600	9,950	9,350	9,350	—	3.25
375	2A	75.0	6,600	10,550	9,950	9,000	—	3.25
400	2A	80.0	6,600	11,250	10,650	10,600	—	3.25
425	3A	85.0	9,600	8,650	7,400	7,350	8,050	4.00
450	3A	90.0	9,600	9,000	7,850	7,850	8,400	4.00
500	3A	100.0	9,600	9,750	8,700	8,700	9,150	5.50
525	3A	105.0	9,600	10,150	9,200	9,150	9,600	5.50
550	3A	110.0	9,600	10,550	9,600	9,600	9,950	5.50
575	3A	115.0	9,600	10,900	10,050	10,050	10,350	5.50
595	3A	119.0	9,600	11,250	10,450	10,400	10,650	7.30

※必要電気容量は「ばっ気ブロウ (単独運転想定)」 「放流ポンプ」の電気容量を合計したものです。
注1 型式認定番号、型式適合認定番号、大臣認定番号は弊社の窓口までお問い合わせ下さい。ホームページにも掲載致しております。

KRZ型

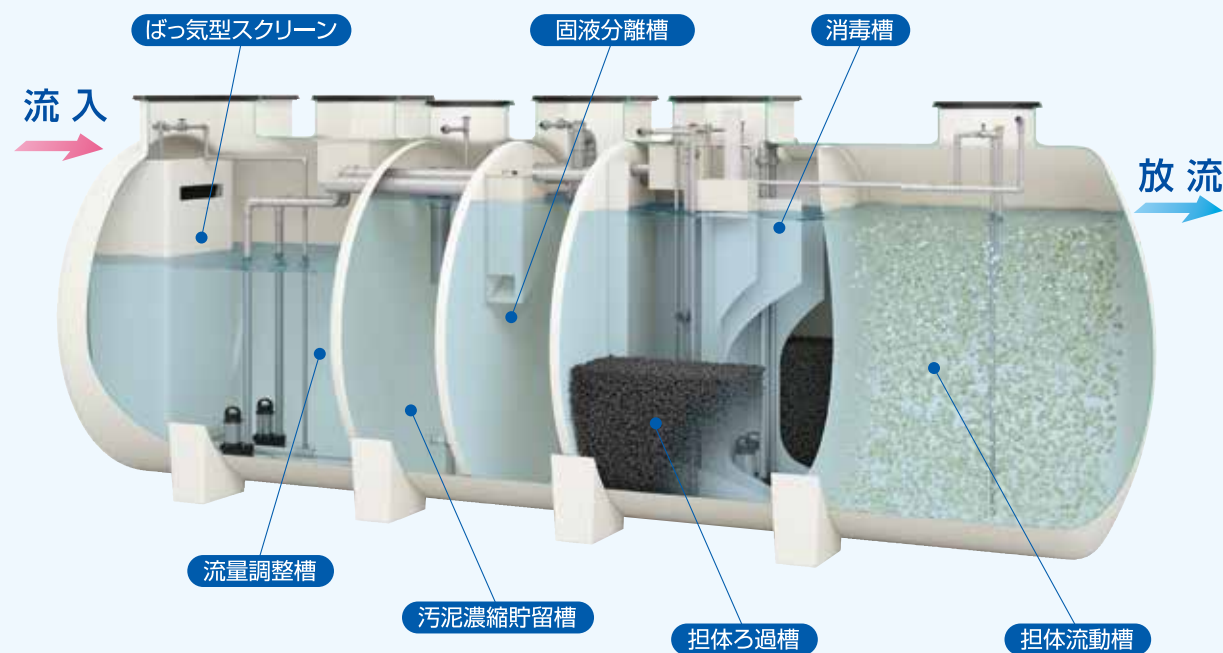
◎設計条件

	流入水	放流水
BOD	50~450mg/L	20mg/L以下

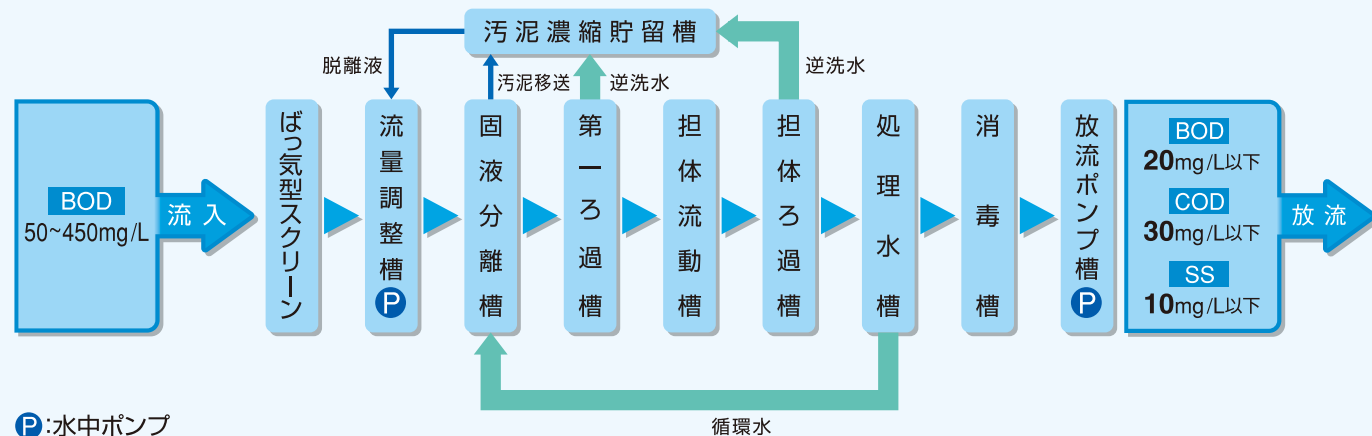
- 流量調整槽を有する中・大規模浄化槽で業界最小※¹コンパクトを実現。
- 60m³/日まで1槽で対応可能※²。
- ハイブリッドタイプ※³も選択可能。
 - 深型流量調整槽の採用で、省スペースでの施工が可能。
 - 既設RC槽を活用しての改修が可能。

※¹ 自社調査・他社主要製品（排水時間12時間）との比較（2021年7月31日現在）。 ※² 排水時間12時間の場合。建築用途、設計条件により槽数が増える場合があります。 ※³ RC製またはPC製の流量調整槽を設計可能。

●断面パース図



●フローシート（処理工程図）



P:水中ポンプ

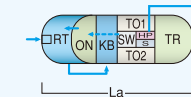
循環水

- 当製品はエアーの逃げ場がないため、臭突管（排気）工事をお願いします。
- 雨水は流入させないでください。
- 油脂分の多い排水は油水分離槽での事前処理を行ってください。
- 温泉排水は流入させないでください。
- 取扱説明書をよくお読みください。

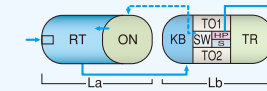
メンテナンス	保守点検	汚泥引き抜き
	1回/2週	1回/2週

●槽の配列

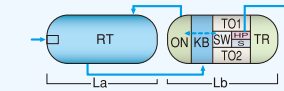
KRZ-1A



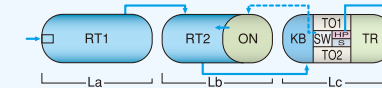
KRZ-2A1



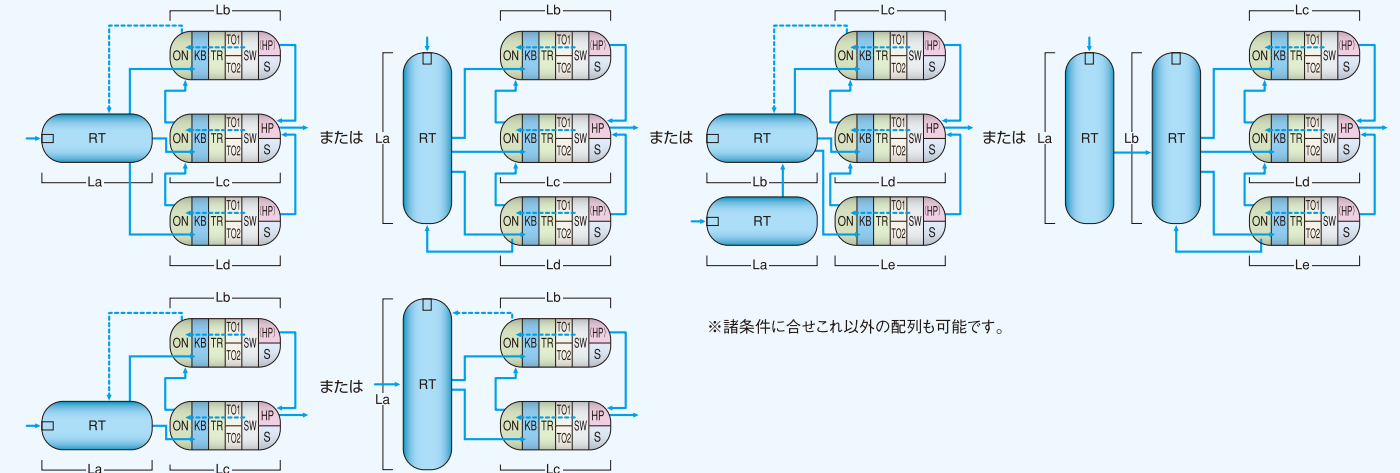
KRZ-2A2



KRZ-3A



KRZ-B

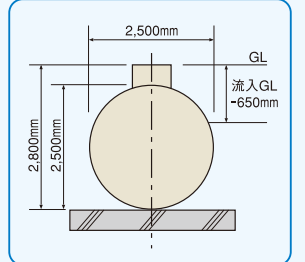


※諸条件に合せこれ以外の配列も可能です。

●記号の説明

- RT 流量調整槽
- ON 汚泥濃縮貯留槽もしくは汚泥濃縮槽
- KB 固液分離槽
- OT 汚泥貯留槽
- TR 担体流動槽
- SW 処理水槽
- TO 担体ろ過槽
- HP 放流ポンプ槽
- S 消毒槽

●断面寸法図



◎設計条件（日平均汚水量 200L/人・日、流入水BOD 200mg/L、排水時間 12hの場合）

処理対象 人員(人)	配 列	汚 水 量 (m ³ /日)	計画スペース(mm)		槽本体全長 (mm)					必要電気容量 (kW)
			W	L	La	Lb	Lc	Ld	Le	
51	1A	10.2	3,600	6,150	5,550	—	—	—	—	1.40
75	1A	15.0	3,600	6,200	5,600	—	—	—	—	1.40
100	1A	20.0	3,600	6,400	5,800	—	—	—	—	1.75
125	1A	25.0	3,600	6,700	6,100	—	—	—	—	1.75
150	1A	30.0	3,600	7,100	6,500	—	—	—	—	2.50
175	1A	35.0	3,600	7,450	6,850	—	—	—	—	2.50
200	1A	40.0	3,600	8,150	7,550	—	—	—	—	2.50
250	1A	50.0	3,600	9,600	9,000	—	—	—	—	2.50
300	1A	60.0	3,600	11,200	10,600	—	—	—	—	3.20
350	2A1	70.0	3,600	13,750	5,750	6,900	—	—	—	3.45
400	2A1	80.0	3,600	15,300	6,450	7,750	—	—	—	3.45
450	2A1	90.0	3,600	16,950	7,200	8,650	—	—	—	4.95
500	2A1	100.0	3,600	18,700	7,950	9,650	—	—	—	5.10
600	B	120.0	9,600	9,050	6,400	8,450	8,450	—	—	5.40
700	B	140.0	9,600	10,100	7,500	9,500	9,500	—	—	7.50
800	B	160.0	9,600	11,150	8,450	10,550	10,550	—	—	7.85
900	B	180.0	6,600	19,000	9,450	8,450	8,450	8,450	—	9.25
1000	B	200.0	9,600	16,000	5,800	5,800	9,100	9,100	9,100	9.25

※必要電気容量は「ばっ気ブロウ（単独運転想定）」「流量調整攪拌ブロウ」「流量調整ポンプ」「放流ポンプ」の電気容量を合計したものです。

注1 型式認定番号、型式適合認定番号、大臣認定番号は弊社の窓口までお問い合わせ下さい。ホームページにも掲載致しております。

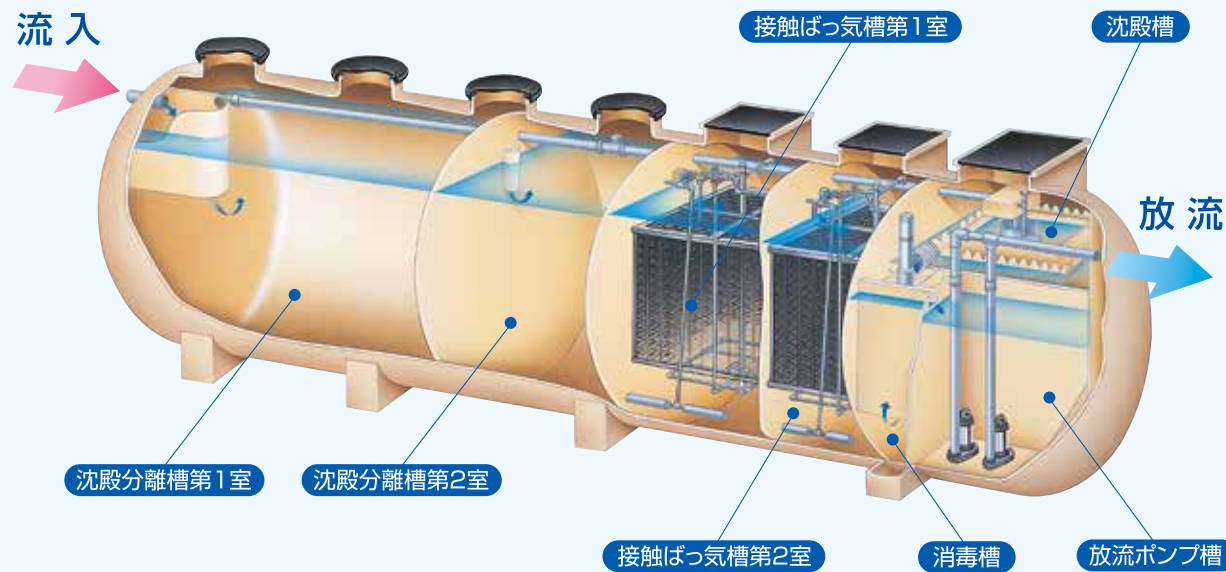
K-SG-Ⅲ-T型

◎設計条件

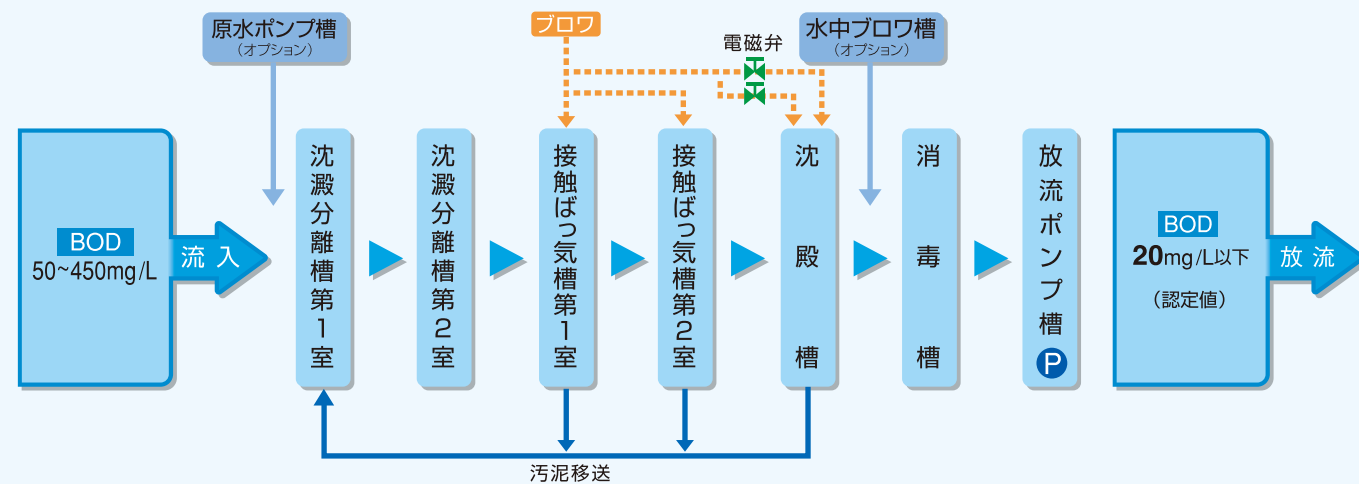
	流入水	放流水 (認定値)
BOD	50~450mg/L	20mg/L以下

- 定評ある沈殿分離+接触ばっ気方式を採用、安定した処理能力を発揮。
- メンテナンスも容易。

●断面パース図



●フローシート (処理工程図)



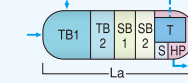
P: 水中ポンプ

メンテナンス	保守点検	汚泥引き抜き
	1回/3ヶ月	1回/1年

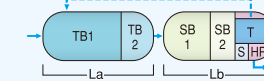
- 当製品はエアの逃げ場がないため、臭突管 (排気) 工事をお願いします。
- 雨水は流入させないでください。
- 油脂分の多い排水は油水分離槽での事前処理を行ってください。
- 温泉排水は流入させないでください。
- 取扱説明書をよくお読みください。

●槽の配列

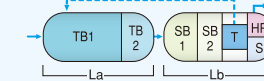
K-SG-Ⅲ-TA



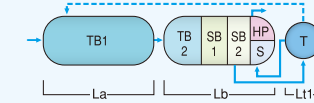
K-SG-Ⅲ-TB



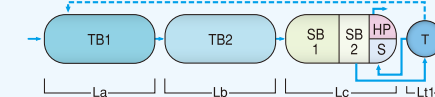
K-SG-Ⅲ-TC



K-SG-Ⅲ-TE



K-SG-Ⅲ-TG1

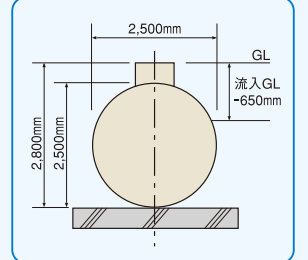


●記号の説明

- TB1 沈殿分離槽 (第1室) TB2 沈殿分離槽 (第2室)
- SB1 接触ばっ気槽 (第1室) SB2 接触ばっ気槽 (第2室)
- T 沈殿槽 S 消毒槽
- HP 放流ポンプ槽

※ 原水ポンプ槽・水中ブロウ槽もオプションでご用意しております。

●断面寸法図



◎設計条件 (日平均汚水量 200L/人・日、流入水BOD 200mg/L)

処理対象 人員 (人)	配 列	汚 水 量 (m³/日)	計画スペース (mm)		槽 本 体 全 長 (mm)				必要電気容量 (kW)
			W	L	La	Lb	Lc	Lt1	
51	TA	10.2	3,600	8,150	7,550	—	—	—	1.35
55	TA	11.0	3,600	8,550	7,950	—	—	—	1.35
60	TA	12.0	3,600	9,000	8,400	—	—	—	1.35
65	TA	13.0	3,600	9,650	9,050	—	—	—	1.35
70	TA	14.0	3,600	10,150	9,550	—	—	—	1.35
75	TA	15.0	3,600	10,800	10,200	—	—	—	1.35
80	TA	16.0	3,600	11,250	10,650	—	—	—	1.35
85	TB	16.0	3,600	12,350	6,550	4,700	—	—	1.35
85	TB	17.0	3,600	12,800	6,850	4,850	—	—	1.35
90	TB	18.0	3,600	13,300	7,250	4,950	—	—	1.35
95	TC	19.0	3,600	14,800	7,600	6,100	—	—	2.1
100	TC	20.0	3,600	15,350	8,000	6,250	—	—	2.1
105	TC	21.0	3,600	15,750	8,250	6,400	—	—	2.1
110	TE	22.0	3,600	16,850	5,800	7,450	—	2,000	2.1
115	TE	23.0	3,600	17,150	5,950	7,600	—	2,000	2.1
120	TE	24.0	3,600	17,600	6,150	7,850	—	2,000	2.1
125	TE	25.0	3,600	18,050	6,300	8,150	—	2,000	2.1
130	TE	26.0	3,600	18,950	6,450	8,400	—	2,500	2.1
135	TE	27.0	3,600	19,300	6,650	8,550	—	2,500	2.1
140	TE	28.0	3,600	19,700	6,800	8,800	—	2,500	2.1
145	TE	29.0	3,600	20,150	7,000	9,050	—	2,500	2.1
150	TE	30.0	3,600	20,550	7,150	9,300	—	2,500	2.1
160	TE	32.0	3,600	21,400	7,500	9,800	—	2,500	2.1
170	TE	34.0	3,600	22,250	7,850	10,300	—	2,500	2.8
180	TE	36.0	3,600	22,950	8,150	10,700	—	2,500	2.8
190	TG1	38.0	3,600	25,000	8,500	4,450	7,450	2,500	3.1

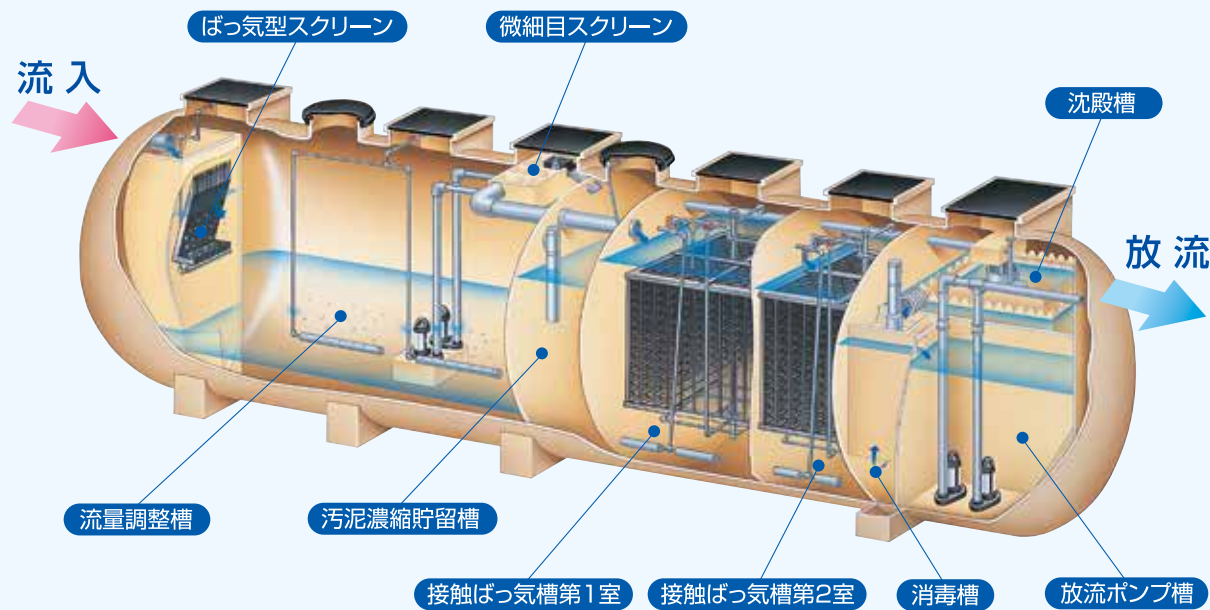
※ 必要電気容量は「ばっ気ブロウ (単独運転想定)」 「放流ポンプ」の電気容量を合計したものです。

注1 型式認定番号、型式適合認定番号は弊社の窓口までお問い合わせ下さい。ホームページにも掲載致しております。

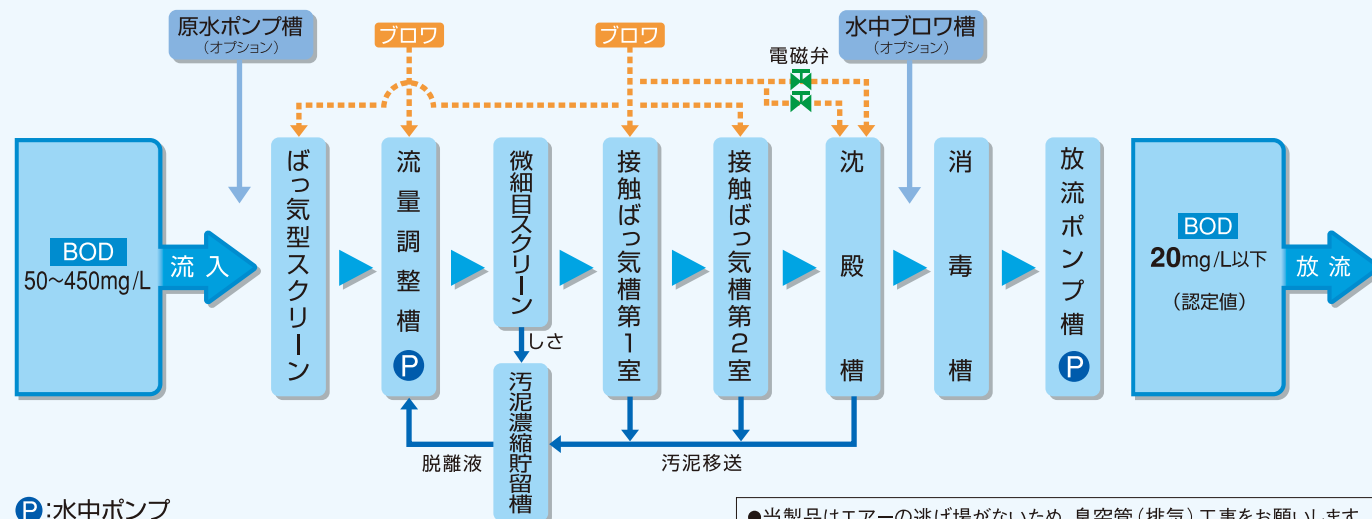
K-SG-III-R型

- 定評ある流量調整+接触ばっ気方式を採用、安定した処理能力を発揮。
- メンテナンスも容易。

●断面パース図



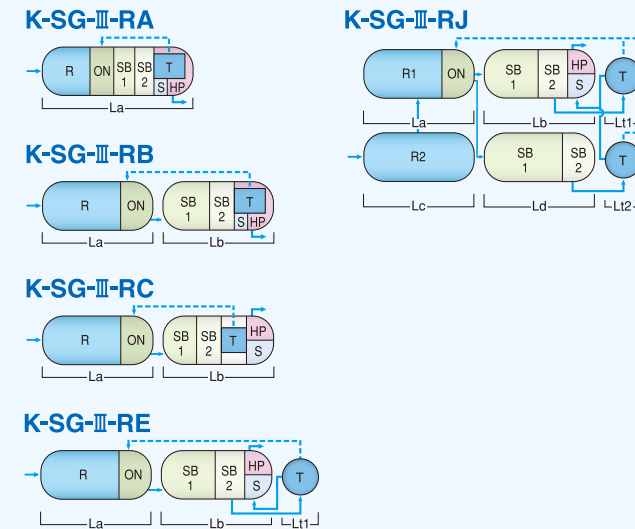
●フローシート（処理工程図）



メンテナンス	保守点検	汚泥引き抜き
	1回/2週	1回/1週～1ヶ月

- 当製品はエアーの逃げ場がないため、臭突管（排気）工事をお願いします。
- 雨水は流入させないでください。
- 油脂分の多い排水は油水分離槽での事前処理を行ってください。
- 温泉排水は流入させないでください。
- 取扱説明書をよくお読みください。

●槽の配列

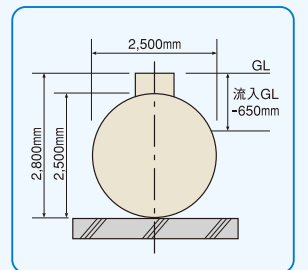


●記号の説明

- R** 流量調整槽
- SB1** 接触ばつ気槽(第1室)
- T** 沈殿槽
- HP** 放流ポンプ槽
- ON** 污泥濃縮貯留槽
- SB2** 接触ばつ気槽(第2室)
- S** 消毒槽

※原水ポンプ槽・水中ブロワ槽も
オプションでご用意しております。

●断面寸法図



◎設計条件(日平均汚水量 200L/人・日、流入水BOD 200mg/L、排水時間 12hの場合)

処理対象 人員(人)	配 列	汚 水 量 (㎡/日)	計画スペース(mm)		槽 本 体 全 長 (mm)						必 要 電 気 容 量 (kW)
			W	L	La	Lb	Lc	Ld	Lt1	Lt2	
101	RA	20.2	3,600	9,500	8,900	—	—	—	—	—	1.98
	RB	20.2	3,600	10,650	4,200	5,350	—	—	—	—	1.98
110	RA	22.0	3,600	10,100	9,500	—	—	—	—	—	1.98
	RB	22.0	3,600	11,200	4,450	5,650	—	—	—	—	1.98
120	RC	24.0	3,600	12,650	4,750	6,800	—	—	—	—	2.73
130	RC	26.0	3,600	13,300	5,000	7,200	—	—	—	—	2.73
	RD	26.0	3,600	13,100	10,000	—	—	—	2,000	—	2.73
140	RC	28.0	3,600	13,850	5,300	7,450	—	—	—	—	2.73
	RE	28.0	3,600	14,720	5,300	5,820	—	—	2,000	—	2.73
150	RE	30.0	3,600	15,300	5,550	6,150	—	—	2,000	—	2.73
160	RE	32.0	3,600	15,900	5,850	6,450	—	—	2,000	—	2.73
170	RE	34.0	3,600	16,550	6,150	6,800	—	—	2,000	—	2.78
180	RE	36.0	3,600	17,050	6,400	7,050	—	—	2,000	—	2.78
190	RE	38.0	3,600	18,250	6,700	7,450	—	—	2,500	—	2.78
200	RE	40.0	3,600	18,700	6,950	7,650	—	—	2,500	—	3.53
220	RE	44.0	3,600	20,000	7,500	8,400	—	—	2,500	—	3.53
240	RE	48.0	3,600	21,100	8,050	8,950	—	—	2,500	—	3.53
260	RE	52.0	3,600	22,300	8,600	9,600	—	—	2,500	—	3.63
280	RE	56.0	3,600	24,050	9,700	10,250	—	—	2,500	—	3.63
300	RJ	60.0	6,600	13,650	5,250	5,250	6,400	5,800	2,000	2,000	3.63
320	RJ	64.0	6,600	14,050	5,500	5,500	6,550	5,950	2,000	2,000	3.63
340	RJ	68.0	6,600	14,600	5,800	5,800	6,800	6,200	2,000	2,000	3.98
360	RJ	72.0	6,600	15,100	6,050	6,100	7,050	6,450	2,000	2,000	3.98
380	RJ	76.0	6,600	16,300	6,350	6,400	7,450	6,850	2,500	2,500	3.98
400	RJ	80.0	6,600	16,800	6,650	6,650	7,650	7,050	2,500	2,500	5.48
420	RJ	84.0	6,600	17,400	6,900	6,950	8,000	7,400	2,500	2,500	5.48
440	RJ	88.0	6,600	18,100	7,200	7,200	8,400	7,800	2,500	2,500	5.48
460	RJ	92.0	6,600	18,850	7,700	7,750	8,650	8,050	2,500	2,500	5.48
480	RJ	96.0	6,600	19,450	8,000	8,000	8,950	8,300	2,500	2,500	5.48
500	RJ	100.0	6,600	20,000	8,250	8,300	9,250	8,650	2,500	2,500	7.28

※必要電気容量は「攪拌ブロワ」「ばっ気ブロワ(単独運転想定)」「流量調整ポンプ」「放流ポンプ」の電気容量を合計したものです。
注1 型式認定番号、型式適合認定番号は弊社の窓口までお問い合わせ下さい。ホームページにも掲載致しております。

■ハイブリッド浄化槽 (KRZ (HB) 型^{51~10,000人}_{10.2~1,000m³/日}／KM-NP (HB) 型^{51~4,700人}_{10.2~940m³/日})

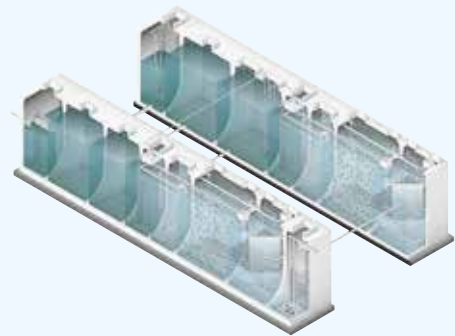
- KRZ型（流量調整型担体流動ろ過循環方式）、KM-NP型（膜分離活性汚泥方式）の流量調整槽をコンクリート製で認定取得。コンクリート製とFRP製の槽を組み合わせたハイブリッドタイプをラインナップ。
- 既存のコンクリート製浄化槽を流量調整槽に転用し、FRP製担体流動ろ過槽／膜分離槽を付加設置することにより敷地・コストを抑えた設計が可能。



※コンクリート水槽は既存・新設（工場生産PC／現場打ちRC）のいずれも可能です。
※KM-NP (HB) は、株式会社クォードコーポレーションと共同で認定を取得しました。

■コンクリート製浄化槽 (Q-TR型)

- 大規模物件に適したコンクリート水槽の担体流動方式をラインナップ。
- 10,000人槽 2,000m³/日まで認定取得。FRP浄化槽では対応できない大規模物件に担体流動方式の適用が可能。構造例示型に比べ大幅な省スペース化を実現。



※コンクリート水槽は工場生産PC／現場打ちRCのいずれも可能です。

告示第6の2との比較
(1,000人槽)

対告示第6の2 **65.4%**
34.6%減

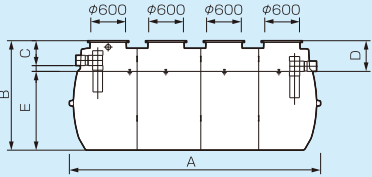
※本製品は、株式会社クォードコーポレーションと共同で認定を取得しました。

■クボタ油水分離槽 (UBD・UBN型)

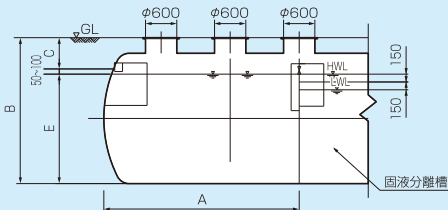
- 浄化槽の安定処理の為、油分の多い施設には必要不可欠。
- 厨房排水専用設置が可能な独立タイプと内蔵タイプをラインナップ。

●構造図

■UBD-20・25型 (独立タイプ)



■UBN-25型 (本体内蔵タイプ)



●仕様概要

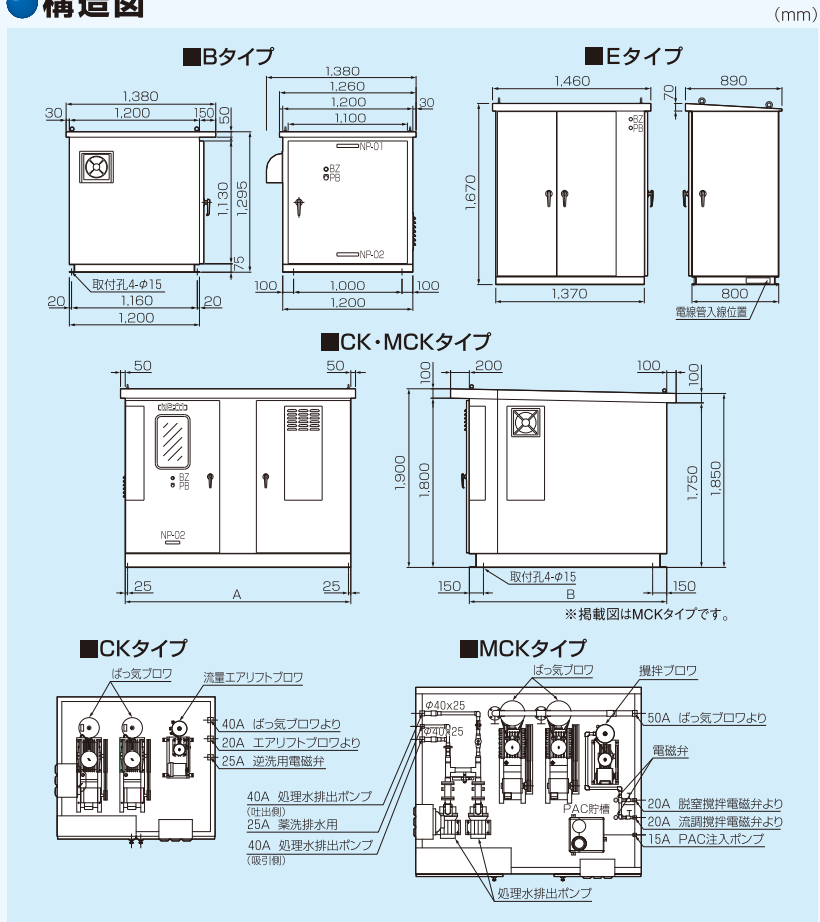
型 式	UBD-20	UBD-25	UBN-25
汚 水 量 (m ³ /日)	21.8	32.5	25.0
本 体 寸 法 (mm)	長さ A		3,000
	幅		2,500
	高さ B ^{※1}		2,800
マンホール・チェッカープレート (mm(個))	φ600 (3)		φ600 (2)
マンホールカバー材質	FRPまたは鋳鉄		
流入・放流管径 (mm)	φ150		
流入管底 C ^{※1} (mm)	570	650	600
放流管底 D (mm)	620	700	—
有効水深 E (mm)	1,700	2,100	
有効容量 (m ³)	10.9	16.2	12.5

※1 かさあげ300mm以下

- 当製品はエアーの逃げ場がないため、臭突管（排気）工事をお願いします。
- 雨水は流入させないでください。
- 油脂分の多い排水は油水分離槽での事前処理を行ってください。
- 温泉排水は流入させないでください。
- 取扱説明書をよくお読みください。

■機械室

●構造図



●仕様概要（キュービクルタイプ）

型 式	対応機種	サイズ (mm)			製品重量 (kg)
		幅 A	奥行き B	高さ	
B	K-SG-Ⅲ-(T)型	1,200	1,200	1,295	350
E	KTZ/KRZ型	1,370	800	1,670	450
CK-1	KTZ/KRZ型	1,200	1,500	1,900	550
CK-2	KTZ/KRZ型	1,200	1,500	1,900	550
CK-2	KTZ/KRZ型	1,700	1,500	1,900	700
CK-3	K-SG-Ⅲ-(T/R)型	1,700	1,500	1,900	700
CK-3	KTZ/KRZ型	1,900	1,900	1,900	900
CK-3	K-SG-Ⅲ-(T/R)型	1,900	1,900	1,900	900
MCK-24	KM型	2,400	2,100	1,900	1,150
MCK-26	KM型	2,600	2,100	1,900	1,300
MCK-30	KM型	3,000	2,100	1,900	1,400
MCK-34	KM型	3,400	2,100	1,900	1,550
MCK-38	KM型	3,800	2,100	1,900	1,700
MCK-40	KM型	4,000	2,100	1,900	1,750
MCK-42	KM型	4,200	2,100	1,900	1,800

※本体重量には制御回路、機器、配管類は含まれません。

■その他

●制御盤

型 式	標 準		オプション	
	KTZ型	壁 掛 型	自立型/キュービクル型	
	K-SG-Ⅲ-T型	壁 掛 型	自立型/キュービクル型	
	KRZ型	自 立 型	キュービクル型	
	K-SG-Ⅲ-R型	自 立 型	キュービクル型	
外部警報 (有電圧・無電圧)				
ブ ザ ー	○	○	—	—
バ ト ラ イ ト	—	—	○	○
コ ン デ ン サ ー	—	—	○	○
電 圧 圧	200V	200V	100V	100V
塗 装 色	マンセル 5 Y 7 / 1	指 定 色	指 定 色	指 定 色

●かさ上げパイプ (300H)

マ ン ホ ール 用	サイズ (mm)
	φ600
チェッカープレート用	600×1,000
	600×1,200
	750×1,150
	750×1,650
チェッカープレート用	1,200×1,200
	1,200×1,200
	1,200×1,200
	1,200×1,200

●マンホール・チェッカープレート

	サイズ (mm)	荷 重	用 途	材 質
マ ン ホ ール	φ 600	1500K	総重量6トン以下	FRP製
		1500K	総重量6トン以下	FCD製
		2500K	総重量10トン以下	FRP製
		5000K	総重量20トン以下	FCD製
		6250K	総重量25トン以下	FCD製
チェッカープレート	600×1,000	1500K	総重量6トン以下	FRP製
		1500K	総重量6トン以下	FCD製
		2500K	総重量10トン以下	FRP製
		5000K	総重量20トン以下	FCD製
		6250K	総重量25トン以下	FCD製
	600×1,200	1500K	総重量6トン以下	FRP製
		1500K	総重量6トン以下	FCD製
		2500K	総重量10トン以下	FRP製
		5000K	総重量20トン以下	FCD製
		6250K	総重量25トン以下	FCD製
	750×1,150	1500K	総重量6トン以下	FRP製
		1500K	総重量6トン以下	FCD製
		2500K	総重量10トン以下	FRP製
		5000K	総重量20トン以下	FCD製
		6250K	総重量25トン以下	FCD製
	750×1,650	1500K	総重量6トン以下	FRP製
		1500K	総重量6トン以下	FCD製
		5000K	総重量20トン以下	FCD製
		1500K	総重量6トン以下	FRP製
		1500K	総重量6トン以下	FCD製
	1,200×1,200	1500K	総重量6トン以下	FRP製
		1500K	総重量6トン以下	FCD製
		5000K	総重量20トン以下	FCD製

※耐荷重選別 (荷重:用途)
1500K:総重量6トン以下、2500K:総重量10トン以下、5000K:総重量20トン以下、6250K:総重量25トン以下

■ 流入管底と原水ポンプ槽の選定について

原 水 ポンプ 槽 有 無	かさ上げ (mm)	管底下げ (mm) (本体鏡部位置)	流入管底GL- (mm)			
			KTZ型 ※1	KRZ型	K-SG-T型	K-SG-R型・KM-SG-B型 KM-SG-NP型
無 し (不 要)	0 (無し)	0	650			
	50～300	0	700～950			
	300	50～250	1,000～1,200	—	—	—
	300	50～750	—	1,000～1,700	—	1,000～1,400
一 体 型 原 水 ポンプ 槽 付 ※2	0 (無し)	—	—	—	—	—
	50～300	—	—	—	—	—
別 置 縦 型 原 水 ポンプ 槽	0 (無し)	—	—	—	—	—

※1: 管底下げ、かさ上げは50mmピッチです。管底下げの計画では1次処理槽の有効断面積が減少する分だけ本体長さが長くなります。
また、流調エアリフトプロフの風量も増大します。ピークの大きい(排水時間が8時間より短い)場合、また、流入管が水没し易い現場条件では、管底下げ 設計は避けて下さい。
その替わり、送水が確実な一体型原水ポンプ槽等を選定下さい。

※2: 一体型原水ポンプ槽は本体長さが10.7mを超えると、輸送上の制限から、選定できません。その場合、別置型原水ポンプ槽を選定します。これらは、自動設計システムで選定されます。

■ クボタ液中膜[®] 保証システム (有償契約) について

膜の点検や各種部品の交換など、長期にわたり安心して液中膜[®]をご使用いただくためのサポートシステムです。
経済的なメンテナンスで、つねに安定した水処理環境を維持します。

● システムの特長

1. 液中膜[®]の稼働開始から最長10年間、その機能を保証します。
2. 遠隔監視で浄化槽の運転状況を定期的にチェックします。
3. 年1回の総合点検で性能・機能の状態を測定し、正常な運転を維持します。
4. 膜交換作業や膜交換部品の費用はシステムに含まれ、契約期間中は膜カートリッジの費用負担がありません。

※当保証システムでは浄化槽全体の保守点検業務は対象外となります (通常の保守点検は別途ご契約願います)。
※膜の薬品洗浄作業は保証システムに含まれておりません。
※定期部品供給はチューブ、押さえゴムが対象です。

■ 施工および維持管理について

● 施工について

- ⚠ 電気機器における感電・発火事故防止
 - アースが必要なブロウ・制御盤などの機器については、必ずアース工事をしてください。
 - ブロウの電源は、防水型コンセントをご使用下さい。
- ⚠ マンホール・点検口における転落事故、損害事故防止
 - 工事中は必要なとき以外はマンホール・点検口などの蓋を必ず閉めて下さい。
 - マンホール・点検口などのひび割れ・ロックの破損などを発見したら、直ちに切り替えしてください。
 - 上部積載物に見合ったマンホールを選定してください。
 - 樹脂製の枠に鋳鉄製の蓋を載せないでください。
- ⚠ 施工現場における落下・傷害事故防止
 - 槽の吊り上げ・据え付け作業では、玉掛けを確実に実施してください。
 - 作業中は槽の下には立ち入らないでください。
- ⚠ 施工現場における転落事故防止
 - 作業時に槽本体に直接のると、滑りやすく転落する危険があります。足場板などを使用して作業を行ってください。
 - 埋設工事に際して、穴の周囲には、防護柵をつくり関係者以外立ち入らないようにしてください。

⚠ 警 告
この表示を無視して取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意
この表示を無視して取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● 維持管理について

- ⚠ 消毒剤による発火・爆発・有毒ガス事故防止
 - 消毒剤は強力な酸化剤です。消毒剤の取扱説明書に従ってください。
 - 消毒剤には、塩素系の無機・有機の2種類があります。これらを一緒に薬剤筒に入れないでください。
 - 取扱いに際しては保護具を必ず着用してください。
- ⚠ 作業中の酸欠などの事故防止
 - 槽内に入る場合は、必ず酸素濃度・硫化水素濃度を測定し、その安全を確かめてください。また、槽内で作業するときは常に換気を行ってください。
- ⚠ 感電・発火・巻き込まれ事故防止
 - ブロウ・制御盤などの機器の近く (約50cm) には、ものを置かないでください。特に可燃物や危険物は遠ざけてください。
 - 電源コードの上には物を置かないでください。
 - 回転物の近くで作業をする際には、必ずその機器を停止させてから作業してください。
- ⚠ マンホール・点検口などからの転落・傷害事故防止
 - 作業終了後、マンホール・点検口などの蓋は必ず閉めてください。蓋がずれている場合はミゾにきちんとはめ、ロック機構のあるものは必ずロックしてください。
 - マンホール・点検口などの蓋のひび割れ・ロックの破損など異常を発見したら、直ちに切り替えてください。溶接部分は溶接しなおしてください。定期的に錆を除去して塗装してください。
 - 枠内にたまった小石などの異物は取り除いてください。

クボタの膜分離技術が注目を集めています。
事業所排水でも高い評価をいただいています。

液中膜
「液中膜[®]」はクボタの高度な水処理技術と、独自の膜技術が生み出した特許技術です。

透 析

型式	KM-SG-B型
処理方式	膜分離活性汚泥方式
汚水量	12m ³ /日
処理水質	BOD 30mg/L以下

●透析センター

食品加工

型式	RC造
処理方式	膜分離活性汚泥方式
汚水量	450m ³ /日
処理水質	BOD 10mg/L以下

●JA関連施設

給 食

型式	KM-SG-B型
処理方式	膜分離活性汚泥方式
汚水量	20m ³ /日
処理水質	BOD 20mg/L以下

●給食センター

除害施設

型式	KM-SG-B型
処理方式	膜分離活性汚泥方式
汚水量	18.5m ³ /日
処理水質	BOD 600mg/L以下

●病院



クボタ インターネット監視システム
KSIS (KUBOTA Smart Infrastructure System)

クボタから5つの「安心」をお約束

- 1 いつでもどこでも、施設の状態を”見える化”できて「安心」。
 - パソコンやスマートフォン、タブレット端末などで、施設の運転状況を確認できます。
 - クボタグループが施設を見守っていますので安心です。
- 2 万一の故障も警報メールでお知らせできるため「安心」。
 - 故障時には、クボタグループを含む指定アドレスへ警報メールを送信します。
 - 故障情報が確実に伝わるため、安心して施設を御使用頂けます。
- 3 施設を知り尽くしたクボタグループだから「安心」。
 - 現在のKSISの日報、月報、年報の保存期間は20年。将来はさらに延長し、機械寿命を超える期間にします。
 - 施設の稼働状況に応じて、部品交換等の維持管理計画を御提案できます。
- 4 低コストだから「安心」。
 - 通信は携帯電波網を使用するため回線工事は不要です。
 - 従来のNTT回線費用より低価格で、一定のコストで運用できます。
- 5 高度なデータ管理で「安心」。
 - 東西2拠点のデータサーバーでデータをバックアップ管理します。
 - ウイルスやハッキング等の攻撃から守る、防衛性能の高い統合脅威管理装置を備えています。



※KSISの御導入は、クボタグループと保守点検を御契約頂いた御客様に限りります。
詳しくは弊社営業担当にご相談ください。

建築物の用途別によるし尿浄化槽の処理対象人員算定基準 (JIS A 3302-2000)

1. 適用範圍

この規格は、建築物の用途別によるし尿浄化槽の処理対象人員算定基準について規定する。

2. 建築用途別处理対象人員算定基準

建築物の用途別によるし尿浄化槽の処理対象人員算定基準は、表のとおりとする。ただし、建築物の使用状況により、表が明らかに実状に添わないと考えられる場合は、この算定人員を増減することができる。

3. 特殊の建築用途の適用

3.1 特殊の建築用途の建築物又は定員未定の建築物については、表に準じて算定する。

3.2 同一建築物が2以上の異なった建築用途に供される場合は、それぞれの建築用途の項を適用加算して処理対象人員を算定する。

3.3 2以上の建築物が共同でし尿浄化槽を設ける場合は、それぞれの建築用途の項を適用加算して処理対象人員を算定する。

3.4 学校その他で、特定の収容される人だけが移動することによって、2以上の異なった建築用途に使用する場合には、3.2及び3.3の適用加算又は建築物ごとの建築用途別処理対象人員を軽減することができる。

類似用途番号	建築物用途				処理対象人員		1日の排水時間(h)	算定単位当たりの汚水量及びBOD濃度参考値		
								合併処理対象		
	算定式		算定単位		汚水量	BOD				
1	集会場施設関係	イ	公会堂・集会場・劇場映画館・演芸場		n＝0.08A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	公会堂・集会場 8 劇場・演芸場 10 映画館 12	16 (L／m²・日)	150 (mg／L)	
			競輪場・競馬場 競艇場		n＝16c	n：人員(人) c：総便器数(個)	2,400 10	260 (L／個・日)	260 (mg／L)	
		ハ	観覧場・体育館		n＝0.065A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	15	10 (L／m²・日)	260 (mg／L)	
2	住宅施設関係	イ	住宅	A ≦ 130 の場合	n＝5	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	12	1,000 (L／戸・日)	200 (mg／L)	
				130 < A の場合	n＝7			1,400 (L／戸・日)		
				浴室及び台所が2つ以上ある住宅の処理水量は200L／人・日とする。(10人槽相当)						
		ロ	共同住宅		n＝0.05A	n：人員(人) A：延べ面積(m²) ※1	12	10 (L／m²・日)	200 (mg／L)	
		ハ	下宿・宿舍		n＝0.07A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	8	14 (L／m²・日)	140 (mg／L)	
ニ	学校寄宿舎 自衛隊キャンプ宿舎 老人ホーム・養護施設		n＝P	n：人員(人) P：定員(人)	8 (但し老人ホーム 10)	200 (L／人・日)	200 (mg／L)			
3	宿泊施設関係	イ	ホテル館	n＝0.15A	結婚式場・宴会場有 n：人員(人) A：延べ面積(m²)	10	30 (L／m²・日)	200 (mg／L)		
				n＝0.075A	結婚式場・宴会場無 n：人員(人) A：延べ面積(m²)	10	30 (L／m²・日)	100 (mg／L)		
		ロ	モートル		n＝5R	n：人員(人) R：客室数	10	1,000 (L／室・日)	50 (mg／L)	
		ハ	簡易宿泊所・合宿所 ユースホステルの 青年の家		n＝P	n：人員(人) P：定員(人)	8	200 (L／人・日)	200 (mg／L)	
4	医療施設関係	イ	病院 療養所 伝染病院	業務用の厨房設備又は洗濯設備を設ける場合 300床未満の場合	n＝8B	n：人員(人) B：ベッド数(床)	12	B×1,000 (L／床・日)	320 (mg／L)	
				300床以上の場合	n＝11.43 (B－300)＋2,400			B×1,300 (L／床・日)		
				業務用の厨房設備又は洗濯設備を設けない場合 300床未満の場合	n＝5 B			B×1,000 (L／床・日)	150 (mg／L)	
				300床以上の場合	n＝7.14 (B－300)＋1,500			B×1,300 (L／床・日)		
		ロ	診療所・医院		n＝0.19A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	8	25 (L／m²・日)	300 (mg／L)	
5	店舗関係	イ	店舗・マーケット※3		n＝0.075A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	8	15 (L／m²・日)	150 (mg／L)	
			百貨店		n＝0.15A			30 (L／m²・日)	150 (mg／L)	
		ハ	飲食店	一般の場合	n＝0.72A			8	130 (L／m²・日)	220 (mg／L)
				汚濁負荷の高い場合	n＝2.94A				260 (L／m²・日)	450 (mg／L)
				汚濁負荷の低い場合	n＝0.55A				110 (L／m²・日)	200 (mg／L)
		ニ	喫茶店		n＝0.80A			10	160 (L／m²・日)	150 (mg／L)
6	娯楽施設関係	イ	玉突場・卓球場		n＝0.075A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	8	15 (L／m²・日)	150 (mg／L)	
			ロ	バチンコ店				n＝0.11A	12	22 (L／m²・日)
		ハ		囲碁クラブ マージャンクラブ				n＝0.15A		8
			ニ	デイスコ				n＝0.50A	6	
		ホ		ゴルフ練習場				n＝0.25S		10
			ヘ	ボーリング場				n＝2.50L	10	
		ト	バッティング場		n＝0.20S	n：人員(人) S：打席数(席)	10	40 (L／席・日)	150 (mg／L)	

類似用途別 番号	建 築 用 途				処 理 対 象 人 員		1日の排水時間(h)	算定単位当たりの汚水量 及びBOD濃度参考値		
					算 定 式	算 定 単 位		合 併 処 理 対 象		
	汚 水 量	B O D								
6	娯楽施設関係	チ	テニスコート場		ナイター設備無 n＝2S	n：人員(人) S：コート面数(面)	10	400 (L/面・日)	150 (mg/L)	
					ナイター設備有 n＝3S		10	600 (L/面・日)		
		リ	遊園地・海水浴場		n＝16C	n：人員(人) C：便器数(個)	7	2,400 (L/個・日)	260 (mg/L)	
		ヌ	プール・スケート場		$n = \frac{20C+120U}{8} \times t$	n：人員(人) C：大便器数(個) U：小便器数(個) ※2 t：単位便器あたり1日平均使用時間(時間) t＝1.0～2.0	10	—	150 (mg/L)	
		ル	キャッチボール場		n＝0.56P	n：人員(人) P：収容人員(人)	8	70 (L/人・日)	320 (mg/L)	
		ヲ	ゴルフ場		n＝21H	n：人員(人) H：ホール数(ホール)	10	250(L/人・日)	130 (mg/L)	
7	駐車場関係	イ	サービスエリア	便所	一般部	n＝3.60P	n：人員(人) P：駐車まず数(まず)	12	480(L/まず・日)	300 (mg/L)
					観光部	n＝3.83P			510(L/まず・日)	
				売店	売店なしPA	n＝2.55P			340(L/まず・日)	
					一般部	n＝2.66P			180(L/まず・日)	590 (mg/L)
					観光部	n＝2.81P				
		ロ	駐自動車車庫		$n = \frac{20C+120U}{8} \times t$	n：人員(人) C：大便器数(個) U：小便器数(個) ※2 t：単位便器あたり1日平均使用時間(時間) t＝0.4～2.0	12	—	—	
ハ	ガソリンスタンド		n＝20	n：人員(人) 1営業所当たり	8	—	—			
8	学校施設関係	イ	保育所・幼稚園 小学校・中学校		n＝0.20P	n：人員(人) P：定員(人)	8	50 (L/人・日)	180 (mg/L)	
		ロ	高等学校・大学・各種学校		n＝0.25P	n：人員(人) P：定員(人)	8	60 (L/人・日)	180 (mg/L)	
		ハ	図書館		n＝0.08A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	5	16 (L/m²・日)	150 (mg/L)	
9	事務所関係	イ	事務所		n＝0.075A	厨房設備有 n：人員(人) A：延べ面積(m²)	8	10 (L/m²・日)	200 (mg/L)	
					n＝0.06A	厨房設備無 n：人員(人) A：延べ面積(m²)		10 (L/m²・日)	200 (mg/L)	
10	作業場関係	イ	作業場所 研究所・試験所		n＝0.75P	厨房設備有 n：人員(人) P：定員(人)	工場・作業所 交替勤務無 8 研究所・試験所 8	100 (L/人・日)	300 (mg/L)	
					n＝0.30P	厨房設備無 n：人員(人) P：定員(人)		60 (L/人・日)	150 (mg/L)	
11	1～10の用途に属さない施設	イ	市営バス		n＝0.02A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	10	4.2 (L/m²・日)	200 (mg/L)	
		ロ	公衆浴場		n＝0.17A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	12	33 (L/m²・日)	50 (mg/L)	
		ハ	公衆便所		n＝16C	n：人員(人) C：総便器数(個)	12	2,400 (L/個・日)	260 (mg/L)	
		ニ	駅ミナール		乗降客10万人/日未満 n＝0.008P 乗降客10万人以上～20万人未満 n＝0.010P 乗降客20万人/日以上 n＝0.013P	n：人員(人) P：乗降客数(人/日)	始発～最終	—	—	

※1.ただし、1戸当たりのnが、3.5人以下の場合は、1戸当たりのnを3.5人又は2人（1戸が1居室だけで構成されている場合に限る）とし、1戸当たりのnが6人以上の場合は1戸当たりのnを6人とする。

※2.女子専用便所にあつては、便器数のおおむね1/2を小便器とみなす。

※3.コンビニエンスストアで、おでん・揚げ物・シェーク等、一般に汚泥負荷の高いファーストフードを提供する場合は〔口〕の $n=0.15A$ を適用する。

■類似建築用途（浄化槽の設計・施工上の運用指針2015年版より抜粋）

類 似 用途別 No.	建 築 用 途	類 似 用途別 No.	建 築 用 途	類 似 用途別 No.	建 築 用 途
1	イ 公民館、自治会館、葬祭場、斎場、神社、寺院、教会、宗教関係の集会場	5	イ クリーニング店、おでん・揚げ物等負荷の高いファーストフードを提供し高いコンビニエンスストア	6 ニ ダンスホール	
	ロ おでん・揚げ物等負荷の高いファーストフードを提供するコンビニエンスストア		チ 屋外ゲートボール場		
	ハ 野球場、陸上競技場、サッカー場、室内トレーニング場、屋内ゲートボールセンター、フィットネスクラブ、エアロビクスダンス場		リ 観光農園		
ロ リゾートマンション、長屋	8		イ 花・茶・ピアノ等教室、カルチャーセンター、塾、託児所、特別支援学校、学童保育所		
ハ 社員寮、グループホーム			ロ 自動車教習所、高等専門学校、予備校		
2	ニ 宿泊のある授産施設、刑務所、老人ホームのデイサービス	6	ハ 美術館、博物館、展示場		
イ 結婚式場、宴会場が主たる用途の建築物	9		イ 銀行、庁舎、証券会社、郵便局、派出所、宿泊を伴わない研修所		
ロ 個室付き浴場、ラブホテル			10	イ 倉庫、アトリエ、卸売り店舗、宿泊の無い授産施設、郵便局の作業部分	
ハ 宿泊を伴う研修所、カプセルホテル、精神科病院等（長期療養）	11			ロ サウナバス、健康ランド浴場、レジャー浴場（適切な流量調整槽などの配慮必要）	
リ 鍼灸院、整骨院、マッサージ所、犬猫病院、動物病院			ハ ハウジングセンター内便所、公園便所		
5	計装院、美容院、コフランドリナー、自販機により飲食させる店舗、ファーストフードの客席部分、持ち帰り専用弁当店、持ち帰り専用寿司店の販売部分、ベストショップ、ホームセンター	6 ハ カラオケボックス、カラオケルーム（飲食提供なし）			